

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

社会福祉運営事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 部内各課の事務事業の執行を支援するため。

効果 施策推進のための後方支援の体制が確保される。

【事業の内容】

(1) 社会福祉運営事業

- ・社会福祉事業全般の運営に係る経費を執行した。
- ・社会福祉事業全般に係る福祉総合システムの機器借料や保守に係る経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
38,840	14,670	14,620		50
主な支出内訳				
・社会福祉運営事業				
福祉総合システム等消耗品費				1,112
福祉総合システムソフトウェア保守委託料				5,961
福祉総合システム改修委託料				0
草刈業務委託				73
緊急援護貸付事業委託料				430
福祉総合システム機器借料				7,011
主な特定財源				
・国県支出金				
				3

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎社会福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部のうち発達支援室(発達相談担当)

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当を除く)

・高齢者いきいき課(介護保険担当を除く)・障害者福祉課・保険年金課(年金担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		335,200
・ 給料	一般職	151,784
	一般職職員	40人
	再任用(短時間)	1人
・ 職員手当等		132,259
	扶養手当	4,514
	地域手当	24,294
	通勤手当	4,340
	超過勤務手当	22,444
	休日給	280
	管理職手当	5,175
	特殊勤務手当	567
	期末勤勉手当	61,709
	住居手当	6,658
	管理職員特別勤務手当	0
	子ども手当	2,278
・ 共済費		51,157
	市町村職員共済組合負担金	51,117
	雇用保険料	40

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

民生委員児童委員活動推進事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 民生委員等

意図 市の地域福祉の一翼を担う民生委員児童委員の活動を支援するため。

効果 地域福祉の増進が図られる。

【事業の内容】

(1) 民生委員児童委員活動推進事業

- ・ 民生委員法及び児童福祉法に基づき委嘱された民生委員児童委員の活動を支援した。
- ・ 地域の福祉相談に応じ、行政機関と協力して地域のための活動をする民生委員児童委員の活動支援として協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,325	39,325	39,158		167
主な支出内訳				
・ 民生委員児童委員活動推進事業				
民生総務嘱託員報酬 20人				3,672
民生嘱託員報酬 204人				30,037
民生委員推薦会報酬 5人				92
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
民生委員・児童委員協議会補助金				3,152
主な特定財源				
・ 国県支出金				14,241

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会福祉協議会支援事業

福祉総務課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市社会福祉協議会

意図 地域福祉活動推進の要として、中心的役割を担う社会福祉協議会への助成を行うため。

効果 事業補助を行うことにより社会福祉協議会の財政基盤を安定させる。

【事業の内容】

(1) 社会福祉協議会支援事業

- ・社会福祉法の規定により地域福祉の推進を図る団体として組織されている社会福祉法人鎌倉市社会福祉協議会に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,187	54,187	54,186		1

主な支出内訳

- ・社会福祉協議会支援事業

鎌倉市社会福祉協議会補助金

54,186

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎地域福祉の経費

社会を明るくする運動事業

【

生活福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉地区保護司会及び市民

意図 「社会を明るくする運動」を通じて、犯罪や非行のない明るい社会を築くため。

効果 犯罪や非行を犯した人達の更生援助と少年非行の防止活動を行い、明るい市民生活の実現を目指す。

【事業の内容】

(1) 社会を明るくする運動事業

- ・ポスターコンテストや講演会などを保護司会とともに行った。
- ・更生保護の仕事に従事している保護司会に対し、補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
278	278	278		0

主な支出内訳

- ・社会を明るくする運動事業
 - ポスターコンテスト消耗品費
 - 保護司会補助金

5

273

◎援護の経費

戦傷病者戦没者遺族等援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 戦没者の遺族と市民

意図 戦没者の追悼と、平和を祈念するため。

効果 対象者の生活を援護し、保障する。

【事業の内容】

(1) 戦傷病者戦没者遺族等援護事業

- ・戦没者の追悼式典を遺族等と行った。
- ・鎌倉市遺族会へ補助金を交付した。
- ・戦没者等の遺族への給付金等請求受付事務等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
709	709	702		7

主な支出内訳

・戦傷病者戦没者遺族等援護事業

戦没者追悼式参列者記念品 150

戦没者追悼式祭壇等設営業務委託料 58

戦没者追悼式献花及び祭壇盛花設置業務委託料 231

鎌倉市遺族会補助金 180

主な特定財源

・国県支出金 101

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

原爆被爆者援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市被爆者の会及び原子爆弾被爆者

意図 原子爆弾被爆者に対し、援護を行うため。

効果 原子爆弾被爆者の生活の安定及び福祉の増進を図る。

【事業の内容】

(1) 原爆被爆者援護事業

- ・ 鎌倉市被爆者の会へ補助金を交付した。
- ・ 本市の援護資格者として認定を受けた市民に対して、援護手当を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,045	4,045	3,919		126

主な支出内訳

・ 原爆被爆者援護事業

鎌倉市被爆者の会補助金

85

被爆者援護手当 162人

3,834

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

行旅病人死亡人援護事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 行旅病人、行旅死亡人等及び同伴者

意図 行旅病人等の救護等のため。

効果 行旅病人等の救護等を図る。

【事業の内容】

(1) 行旅病人死亡人援護事業

- ・行旅病人の援護を行う(平成23年度は対象者なし)。
- ・行旅死亡人の火葬、官報公告、遺骨の保管等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,125	1,292	1,276		16
主な支出内訳				
・行旅病人死亡人援護事業				
行旅死亡人遺骨保管謝礼				90
行旅死亡人官報公告掲載料				43
行旅死亡人移送及び火葬等業務委託料				1,143
主な特定財源				
・国県支出金				737

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎援護の経費

中国残留邦人等支援事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 永住帰国した中国残留邦人等

意図 中国残留邦人等の生活の支援を行うため。

効果 中国残留邦人等の老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現する。

【事業の内容】

(1) 中国残留邦人等支援事業

- ・中国残留邦人等で、世帯の収入が一定の基準に満たない方などに対して、生活支援給付金を支給する(平成23年度は対象者なし)。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10	10	0		10

主な支出内訳

- ・中国残留邦人等支援事業
生活支援扶助費

0

◎援護の経費

住宅手当緊急特別措置事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 平成19年10月1日以降に離職した者で、就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者

意図 住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うため。

効果 対象者が住宅の確保等の支援を受けながら、再就職の実現に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 住宅手当緊急特別措置事業

- ・対象者に住宅手当を支給した。
- ・住宅確保・就労支援員による就労確保のための支援などを行うことにより、常用就職に向けた援助を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
51,161	40,230	21,970		18,260
主な支出内訳				
・住宅手当緊急特別措置事業				
住宅確保・就労支援員報酬 2人				3,110
住宅確保・就労支援員費用弁償				211
住宅手当扶助費 単身世帯 52世帯				18,571
複数世帯 30世帯				
主な特定財源				
・国県支出金				21,969

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎保健福祉政策の経費

啓発事業

【 福祉総務課・高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の推進
地域福祉の推進

【事業の目的】

対象 市民等

意図 健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティーや仕組みづくりを進めるため。

効果 地域福祉の推進が図られる。

【事業の内容】

(1) 啓発事業

- ・福祉有償運送事業に関する事務を行った。
- ・市社会福祉協議会との協働事業として、地域福祉支援室を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地域福祉の推進(7-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,705	4,705	4,587		118

主な支出内訳

・啓発事業

横須賀・三浦地区福祉有償運送市町協働運営協議会等消耗品費	56
横須賀・三浦地区福祉有償運送市町協働運営協議会筆耕翻訳料	31
地域福祉支援室事業負担金	4,500

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国民健康保険高額療養資金貸付事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 鎌倉市国民健康保険の被保険者の属する世帯

意図 高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けるため。

効果 被保険者が高額医療の急な支払いに対応することができる。

【事業の内容】

(1) 国民健康保険高額療養資金貸付事業

- ・ 高額な療養費の支払いが困難な者に対し、高額療養費の支給見込み額を限度として貸付けを行うものであるが、申請者がいないため執行しなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
100	100	0		100

主な支出内訳

- ・ 国民健康保険高額療養資金貸付事業
国民健康保険高額療養資金貸付金

0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 5社会福祉総務費

◎国民健康保険等の経費

国保組合支援事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する国民健康保険組合の組合員とその家族

意図 国民健康保険組合が行う国民健康保険事業に要する費用に対する補助金であり、保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で交付するため。

効果 組合員の安定した医療保障が図られる。

【事業の内容】

(1) 国保組合支援事業

- ・ 保険事業の健全化と事業運営の支援の一助とする目的で、国民健康保険組合員とその家族1人あたりに70円を補助金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
82	82	81		1

主な支出内訳

・ 国保組合支援事業

県建設連合国保組合補助金

49

県建設業国保組合補助金

32

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 10社会福祉施設費

◎福祉センターの経費

福祉センター管理運営事業

福祉総務課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保持を図るため。

効果 利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

【事業の内容】

(1) 福祉センター管理運営事業

- ・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,864	42,864	41,820		1,044
主な支出内訳				
・福祉センター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				385
調理室用消耗品費				276
会議室用消耗品費				397
光熱水費				10,736
維持修繕料				5,886
消防設備・非常用警報(放送)設備保守点検手数料				200
自家用電気工作物保守点検手数料				185
熱源機器保守点検手数料				908
昇降機保守点検手数料				668
受水槽法定点検等手数料				477
総合管理業務委託料				20,833
警備業務委託料				277
自動ドア保守点検委託料				187
電話設備保守点検委託料				139
樹木伐採業務委託料				84
受変電設備清掃委託料				42

◎障害者福祉の経費

障害者福祉運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等に関する施策をより明確にし、よりきめ細かく推進するための障害者福祉計画の着実な推進及び障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス等の適正かつ円滑な実施を行うため。

効果 障害者等の生活の安定と支援の充実を図る。

【事業の内容】

- (1) 障害者福祉運営事業
 - ・ 障害者福祉計画等の改定及び進行管理を行った。
 - ・ 障害者自立支援法に基づく事業の執行管理等を行った。
 - ・ 障害者団体等への支援を行った。
 - ・ 障害者等へのサービス利用調整等必要な支援や権利擁護のための援助など相談支援事業を行った。
 - ・ 失語症等成人中途言語障害者への支援を市民活動団体と協働して行った。
- (2) 障害者生活支援事業
 - ・ 施設等通所交通費助成費、特別障害者手当等、福祉手当等を対象者に給付し、障害者の生活の安定及び福祉の向上を図った。
- (3) 外国籍等障害者福祉給付金支給事業
 - ・ 公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の障害者に給付金を支給し、福祉の向上を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者福祉計画の改定と推進(4-1-2-⑦)

障害者の相談支援体制の充実(4-1-2-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
274,595	281,769	278,150		3,619
主な支出内訳				
・ 障害者福祉運営事業				
総合相談窓口非常勤嘱託員報酬	6人			6,169
障害者介護給付費等審査会委員報酬	15人			2,837
支援費等事務補助臨時的任用職員賃金				1,104
地域自立支援協議会報償費				358
障害者福祉計画推進委員会報償費				248
障害者施設訪問歯科検診報償費				950
自立支援法医師意見書作成手数料				850
支援費等支払システム運営手数料				2,756
成年後見市長申立手数料				12
手話通訳者等保険料				19
障害者地域活動支援センター運営事業委託料	4ヶ所			68,214
支援費等支払システム機器保守等委託料				0

自立支援法対応システム改修委託料	1,546
障害者相談支援事業運営委託料	11,020
障害者福祉計画点字版等作成委託料	454
成年後見制度利用支援業務委託料	525
ケアマネジメント業務等委託料	270
失語症等成人中途言語障害者支援事業負担金	404
鎌倉市肢体不自由児者父母の会補助金	158
鎌倉市身体障害者福祉協会補助金	158
青い麦の会事業運営費補助金	137
鎌倉市手をつなぐ育成会補助金	248
鎌倉市腎友会補助金	43
神奈川県障害者スポーツ振興協議会補助金	30

・ 障害者生活支援事業

扶養共済掛金助成費	2,629
施設等通所者交通費助成費	34,102
特別障害者手当等	33,795
福祉手当	107,438

・ 外国籍等障害者福祉給付金支給事業
福祉給付金

312

主な特定財源

・ 国県支出金	32,342
---------	--------

扶養共済掛金助成費

全額助成した者	延 91 人	(9 人)	765 千円
半額助成した者	延 352 人	(31 人)	1,864 千円
計	延 443 人	(40 人)	2,629 千円

施設等通所者交通費助成費

更生施設	延 413人	(33人)	4,358 千円
授産施設	延 311人	(26人)	2,357 千円
地域作業所	延 570人	(64人)	3,309 千円
指定医療機関	延 8人	(2人)	936 千円
就労支援	延 2,090人	(200人)	15,535 千円
生活介護	延 647人	(65人)	7,607 千円
計	延 4,039人	(390人)	34,102 千円

福祉手当

国の制度	月額	14,330 円	障害児福祉手当及び経過措置分福祉手当
		26,340 円	特別障害者手当
	延人員	1,559 人 (151人)	33,795 千円
国庫			25,347 千円
市の制度	月額	2,400円～3,300円	
	延人員	45,294 人 (7,411人)	107,438 千円
	計		141,233 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者施設福祉事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 障害者等の身体機能の回復及び職能訓練、更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 障害者等の自立更生・社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者施設福祉事業

- ・施設入所・通所している障害者等への施設訓練費等の支給を行った。
- ・対象施設が新体系事業に移行し、新たな給付サービスに切り替わったため、障害者の更生に係る訓練費の支給は行わなかった。
- ・進行性筋萎縮症者に対する身体機能の維持を図るための治療、訓練に係る費用の支給を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
369,949	333,091	332,525		566
主な支出内訳				
・ 障害者施設福祉事業				
知的障害者施設入所・通所者支援費等 延	985人			151,041
身体障害者施設入所・通所者支援費等 延	4人			750
知的障害者通勤寮入所費 延	4人			325
更生訓練費 延	0人			0
療養介護給付費 延	24人			6,396
施設入所補足給付等				157,096
自立訓練給付費				13,783
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				238,824

自立支援給付支給事業

障害福祉サービス給付費等	施設訓練等給付	身体障害入所更生施設	2 件	388,276 円
		身体障害療護施設	2 件	362,128 円
		身体障害通所授産施設	0 件	0 円
		知的障害入所更生施設	116 件	27,242,634 円
		知的障害通所更生施設	377 件	53,848,006 円
		知的障害入所授産施設	2 件	513,814 円
		知的障害通所授産施設	490 件	69,436,784 円
		知的障害通勤寮	4 件	325,230 円
	療養介護	24 件	6,396,460 円	
	自立訓練	117 件	13,783,197 円	
	施設入所支援	1281 件	133,832,455 円	
施設入所補足支援	- 件	23,263,651 円		
	合 計	2,415 件	329,392,635 円	
			国庫	152,533 千円
			県費	85,696 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者在宅福祉事業

【 発達支援室・障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等に福祉サービスを提供し、在宅生活の向上と日常生活の利便性を図るため。

効果 障害者等が地域の中で自立した生活を送る。

【事業の内容】

(1) 障害者在宅福祉事業

- ・ 障害者がホームヘルプサービス等の居宅サービスを利用した場合に居宅介護給付等の支給を行った。
- ・ 身体機能を補い日常生活を容易にするために障害者等の補装具・日常生活用具の給付を行った。
- ・ 障害の内容に合わせた住宅設備改修の際に重度障害者住宅設備改造費の助成を行った。
- ・ デイサービスでの入浴が不可能な身体障害者に訪問入浴サービスを実施した。
- ・ 難病患者へのホームヘルプサービスは、対象者がいなかったため実施しなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者グループホーム等への支援(4-1-2-②)

障害児通園支援(4-1-2-⑭)

低所得障害者への支援(4-1-2-⑮)

通所サービス事業への支援(4-1-2-⑰)

在宅重度身体障害者生活介護支援(4-1-2-⑱)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,040,630	1,178,218	1,163,121		15,097
主な支出内訳				
・ 障害者在宅福祉事業				
身体障害者訪問入浴サービス事業委託料				3,381
難病患者等ホームヘルプサービス事業委託料				0
精神障害者ホームヘルプサービス事業委託料				0
重度障害者住宅設備改造費補助金				1,734
障害者グループホーム家賃費補助金				3,180
在宅重度身体障害者生活介護支援事業補助金				9,021
在宅精神障害者社会復帰対策推進事業費補助金				0
通所サービス利用促進事業補助金				12,750
地域生活サポート事業補助金				5,279
日常生活用具給付費				36,436
補装具給付費				34,068
更生医療給付費				106,712
短期入所費				44,380
居宅介護支援給付費				89,023
生活介護給付費				575,020

グループホーム等入居費	123,475
移動介護給付費	71,739
利用助成費	363
障害児通園支援助成費	312
自立支援法サービス利用計画作成費	1,070

主な特定財源

・ 国県支出金	813,333
---------	---------

重度障害者住宅設備改造費補助金

助成状況(改造内容別件数)

住宅設備改良(改良個所重複あり)			4件
浴室	2カ所	玄関	1カ所
便所	1カ所	廊下	カ所
台所	カ所	その他	カ所
		県費	420 千円

日常生活用具給付費

品目別給付状況

電気式たん吸引器	12 件
拡大読書器	5 件
介護用ベッド	4 件
入浴補助具	6 件
聴覚障害者用通信装置	2 件
ストマ用装具	2,466 件
その他	45 件
合 計	2,540 件

身体障害児者補装具交付事業

補装具交付(修理)及び自己負担額扶助状況

区 分	交付			修理		
	公費負担		自己負担額扶助 金額	公費負担		自己負担額扶助 金額
	件数	金額		件数	金額	
義肢	7	2,936	75	16	2,937	197
装具	92	8,431	500	55	1,313	73
補聴器	53	2,756	132	22	311	15
車いす	40	8,903	540	53	2,615	199
その他	37	1,629	123	5	349	34
合計	229	24,655	1,370	151	7,525	518
				国庫	13,915 千円	
				県費	7,170 千円	

更生医療給付費

給付利用者の状況

じん臓機能障害	33 人
肢体不自由	2 人
その他	14 人
計	49 人 延 621 人

自立支援給付支給事業

障害福祉サービス給付費等	地域生活支援事業	日中一時支援	30 件	677,660 円
		経過的デイサービス	0 件	0 円
		移動支援	2,582 件	71,739,120 円
		地域活動支援センター	0 件	0 円
		居宅介護(身体・知的・児童・精神)	1,305 件	89,023,465 円
		重度訪問介護	5 件	1,966,722 円
		行動援護	224 件	6,989,203 円
		生活介護	3,001 件	575,019,829 円
		児童デイサービス	452 件	13,273,344 円
		短期入所(身体・知的・児童)	996 件	44,380,454 円
		県単独短期入所加算	479 件	8,067,200 円
		共同生活介護	1,160 件	111,011,844 円
		共同生活援助	234 件	12,462,888 円
		相談支援	87 件	1,070,070 円
		合 計	10,555 件	935,681,799 円
			国庫	471,546 千円
			県費	273,892 千円

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者福祉の経費

障害者社会参加促進事業

【

障害者福祉課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 在宅の障害者等の社会参加及び外出を支援するため。

効果 障害者等の社会参加の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 障害者社会参加促進事業

- ・聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者等を派遣し、聴覚障害者等の情報保障を図った。
- ・手話通訳者を週3回、半日、障害者福祉課窓口に配置した。
- ・手話講習会入門、基礎、養成講座等を開催した。
- ・障害者ふれあいフェスティバルを開催した。
- ・障害者が自ら運転する自動車を改造する場合に自動車改造費の助成を行った。
- ・障害の程度が1級から4級までの下肢・体幹・内部障害、あるいは1級の上肢の障害を有する方に自動車運転訓練費の助成を行った。
- ・在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券等を交付し利用料等の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

福祉タクシー券・ガソリン券等の交付(4-1-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,199	42,435	39,523		2,912
主な支出内訳				
・ 障害者社会参加促進事業				
手話通訳嘱託員報酬 1人				792
手話通訳者等派遣報償費				2,055
手話講習会等開催委託料				1,308
障害者ふれあいフェスティバル開催等委託料				370
身体障害者自動車改造費助成費				100
身体障害者自動車運転訓練費助成費				98
福祉タクシー利用料金等助成費				33,535
主な特定財源				
・ 国県支出金				2,212
福祉タクシー利用料金等助成事業利用状況				
タクシー利用券	延 38,685 枚	1,229 人	19,507 千円	
自動車燃料費助成券	延 9,105 枚	860 人	13,658 千円	
バス共通カード購入助成券	延 0 枚	0 人	0 千円	
福祉有償運送助成券	延 1,233 枚	52 人	370 千円	
		合 計	33,535 千円	

◎障害者福祉の経費

障害者就労支援事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害者等

意図 一般就労が困難な障害者等に作業・生活訓練を行い、地域社会の一員として生活できるよう支援するため。

効果 障害者等の雇用の促進と就労の場の確保

【事業の内容】

(1) 障害者就労支援事業

- ・在宅の障害者を雇用する事業主に雇用奨励金を支給した。
- ・雇用の促進と就労の安定化を図るため、就労後の定着支援事業を行った。
- ・一般就労が困難な障害者に作業・生活訓練をし、地域社会の一員として生活できるように指導するため、障害者地域作業所等に運営費等を補助し支援を行った。
- ・就労支援のための訓練等給付費を支給した。
- ・障害者の就労をサポートする就労支援員の養成及び派遣事業を市民活動団体と協働して行った。
- ・障害者雇用や就労支援に関する理解を深め、普及啓発を図る講演及びシンポジウム事業を市民活動団体と協働して行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害者地域作業所等への支援(4-1-2-③)

障害者の就労支援体制の充実(4-1-5-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
449,868	449,508	388,647		60,861
主な支出内訳				
・ 障害者就労支援事業				
障害者雇用奨励金				19,783
雇用促進対策事業報償費				392
就労後アフターケア事業委託料				2,500
障害者就労支援員(ジョブサポーター)養成・派遣事業負担金				287
障害者就労支援・雇用促進普及啓発事業負担金				100
知的障害者地域作業所指導事業費補助金 3か所				28,080
身体障害者地域作業所指導事業費補助金 4か所				47,984
精神障害者地域作業所指導事業費補助金 2か所				23,050
地域生活サポート事業補助金(余暇活動支援事業)				1,000
障害者訓練等給付事業所家賃助成補助金				8,700
訓練等給付費				256,771
主な特定財源				
・ 国県支出金				234,619

在宅障害者地域作業所補助金

家賃費補助金	9,620 千円	
運営費補助金	89,494 千円	
計	99,114 千円	
	県費	36,878 千円

◎発達支援の経費

発達支援事業

発達支援室

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 おおむね18歳までの障害児等

意図 ライフサイクルにそって、その時々に必要な相談及びサービスを利用できるようにするため。

効果 安心して生活できるよう、一体的、総合的にサービスの提供体制を調整・整備する。

【事業の内容】

(1) 発達支援事業

- ・発達障害を含む特別な支援を必要とする児者の相談及び早期発見、早期支援について保健、福祉、教育等と連携を図りながら実施した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う団体へ補助金を交付した。
- ・障害児放課後・余暇支援事業を行う「障害児活動支援センター」の運営を指定管理者に委託した。
- ・発達障害児者への支援の取り組みをまとめた「マニュアル」、発達に気がかりのある子どもを持つ保護者のための「発達支援ハンドブック」を作成した。

(2) 特別支援保育助成事業

- ・特別な支援を必要とする児童を受け入れている幼稚園に対して補助金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

障害児放課後・余暇支援事業の推進(4-1-2-⑥)

発達障害児者への支援(4-1-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,797	59,215	57,764		1,451
主な支出内訳				
・発達支援事業				
発達支援嘱託員報酬				
理学療法士	2人			4,876
言語聴覚士	5人			9,653
心理士	4人			7,301
保育士	1人			1,051
作業療法士	2人			2,352
嘱託医報酬				
小児神経科医師	1人			791
整形外科医師	1人			791
リハビリテーション医師	1人			1,450
児童等の発達を支援するためのサービス検討委員会委員報償費				219
講演会等講師謝礼				65
発達障害児者支援マニュアル作成委託料				109
発達支援ハンドブック作成委託料				426
障害児放課後・余暇支援事業委託料				9,450
障害児放課後・余暇支援事業補助金				9,542

- ・ 特別支援保育助成事業
特別支援保育運営費補助金

8,106

主な特定財源

- ・ 国県支出金

3,891

発達支援事業

事業名	実施状況	
発達支援事業 (新規相談のみ)	発達相談	84人
	言語聴覚相談	110人
	リハビリ相談	76人
発達支援指導	発達指導	54人 (延486人)
	心理指導	5人 (延47人)
	言語聴覚指導	106人 (延1,434人)
	リハビリ指導	70人 (延1,007人)
巡回相談事業 (幼稚園・保育園等)	発達相談	117回 (延304人)
	言語聴覚相談	59回 (延142人)
	リハビリ相談	33回 (延75人)
母子グループ指導		41人 (延308人)

障害児放課後・余暇支援事業

事業所名	実施状況	
障害児活動支援センター	開所日数	311日
	登録者数	99人
	延利用者数	2,048人
のんびりスペース★大船	開所日数	240日
	登録者数	93人
	延利用者数	1,902人

特別支援保育助成事業

事業名	対象園	人数
特別支援保育運営費補助金交付事業	13 園	34人

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 15障害者福祉費

◎障害者医療の経費

心身障害者医療助成事業

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳の1～2級を持つ障害者等

意図 障害者の医療費を助成することにより、障害者の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図るため。

効果 常時医療を必要とすることの多い障害者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 心身障害者医療助成事業

- ・療育手帳A1～B1、身体障害者手帳1～3級と4級の一部、精神福祉手帳1～2級を持つ障害者等(一部所得制限あり)に、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分を全額助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
694,205	709,180	697,162		12,018
主な支出内訳				
・心身障害者医療助成事業				
臨時的任用職員賃金				258
医療助成事務用消耗品費				38
受診証印刷製本費				12
診療報酬明細書印刷製本費				37
審査支払手数料				7,287
医療扶助費				689,530
主な特定財源				
・国県支出金				
				132,973
助成件数				
一般保険分	延 66,724件	月平均対象者	2,628人	
後期高齢者医療・				
老人保健医療分	延 62,216件	月平均対象者	1,929人	

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎通所更生授産施設の経費

はまなみ運営事業

【 障害者福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的障害者

意図 知的障害者の更生に必要な日常生活訓練及び職業の提供等を行い障害者の自立更生を支援するため。

効果 知的障害者の社会性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) はまなみ運営事業

- ・ 鎌倉はまなみの効率かつ効果的運営を図るため、施設の維持管理及び運営を指定管理者に委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,281	32,281	30,281		2,000

主な支出内訳

・ はまなみ運営事業

設備維持管理料

0

鎌倉はまなみ指定管理料

30,281

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 20障害者施設費

◎障害者施設の経費

障害者施設管理運営事業

【

発達支援室

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 障害児等

意図 障害児等に余暇活動の場を確保することにより、その家族の介護に係る身体的及び精神的な負担を軽減し、障害児等及びその家族の福祉の増進を図るため。

効果 障害児放課後・余暇支援施設の複数整備により、障害児等が安心して活動できる場が拡大するとともに、利用希望者の増加に対応する。

【事業の内容】

(1) 障害者施設管理運営事業

・ 障害児放課後・余暇支援施設の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,486	1,486	1,233		253

主な支出内訳

・ 障害者施設管理運営事業

障害児放課後・余暇支援施設光熱水費

1,097

電信料

77

ケーブルテレビ等使用料

59

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者福祉運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者等

意図 地域における高齢者の保健・福祉ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。

効果 地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

【事業の内容】

(1) 高齢者福祉運営事業

- ・ 高齢者保健福祉計画の策定を行った。
- ・ 高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,098	1,098	704		394

主な支出内訳

・ 高齢者福祉運営事業

高齢者保健福祉計画等推進委員会報償費 460

文具等消耗品費 0

高齢者保健福祉計画作成印刷製本費 244

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 施設入所等を要する高齢者

意図 高齢者に対し、施設入所等に係る環境づくりを支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への施設福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設福祉事業

- ・養護老人ホーム等の入所判定を行った。
- ・特別養護老人ホームの土地の借上げを行った。
- ・養護老人ホーム等への施設入所措置を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,027	60,027	57,226		2,801

主な支出内訳

・ 高齢者施設福祉事業

高齢者サービス検討委員会委員等報償費

104

特別養護老人ホーム(プライエムきしろ)土地賃借料

2,169

施設入所者措置費 32人

54,953

措置状況

施設名	延人数(人)	実人数(人)	措置費(千円)
藤沢養護老人ホーム	59	6	8,953
敬愛の園	36	3	6,904
湘風園	0	0	0
えびな南養護老人ホーム	46	4	8,048
ひとみ園	12	1	1,594
相模原養護老人ホーム	64	6	11,768
美山ホーム	84	7	13,206
平塚養護老人ホーム	12	1	2,006
横須賀養護老人ホーム	12	1	2,017
やむを得ない事由による措置	6	3	457
計	331	32	54,953

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者在宅福祉事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者

意図 高齢者に対し、食、健康等生活面における自立を支援し、生活の質の確保を図るため。

効果 高齢者への在宅福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者在宅福祉事業

- ・ひとり暮らし等の高齢者世帯に緊急通報装置の貸し出しを行った。
- ・低所得でかつ調理が困難等の高齢者に夕食を届けるサービスを行った。
- ・寝たきり等の高齢者に訪問による理美容サービスを行った。
- ・成年後見制度に関する相談業務、普及・啓発活動を行った。
- ・低所得の高齢者に対する、成年後見申立に係る費用の一部助成は、対象者がいなかったため、行わなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,559	28,559	26,820		1,739

主な支出内訳

・ 高齢者在宅福祉事業

成年後見市長申立手数料	162
緊急通報システム事業委託料	19,322
配食サービス事業委託料	6,697
訪問理美容サービス事業委託料	33
成年後見相談等業務委託料	525
成年後見制度利用支援補助金	0

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者福祉の経費

高齢者生活支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 介護保険サービス利用者等

意図 介護保険法による軽減策とは別に、市独自で低所得者等に対する負担軽減策を講じるため。

効果 利用者や家族の経済的負担等を軽減し、介護サービス等を利用しやすくする。

【事業の内容】

(1) 高齢者生活支援事業

- ・ 障害者自立支援法によるホームヘルプを受けていた低所得の方に対する、訪問介護利用者負担分の軽減は、対象者がいなかったため行わなかった。
- ・ 要介護3～5の認定者、要支援1・2または要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対し、紙おむつ等を支給した。
- ・ 認知症等の方が急にショートステイが必要になった場合に、円滑な利用ができる仕組みづくりを強化するため事業を実施した。
- ・ 社会福祉法人が運営する施設等の利用者で生活が困難な方に対する、利用者負担分の軽減は、対象者がいなかったため、行わなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙おむつの支給(4-1-2-①)

認知症緊急ショートステイ受け入れ(4-1-2-22)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,159	14,930	12,297		2,633
主な支出内訳				
・ 高齢者生活支援事業				
訪問介護軽減審査等支払手数料				0
紙おむつ等支給事業委託料				8,187
認知症緊急ショートステイ受け入れ事業委託料				4,110
社会福祉法人等利用者負担額軽減制度事業補助金				0
訪問介護利用者負担軽減措置事業扶助費				0

◎高齢者福祉の経費

高齢者施設整備事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 社会福祉法人等

意図 施設整備することで、入所待機者の解消と施設の安全性を確保するため。

効果 施設による高齢者福祉サービスの充実を図る。

【事業の内容】

(1) 高齢者施設整備事業

- ・ 関谷の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設ラペ鎌倉)の整備費用を助成した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、関谷の特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設ラペ鎌倉)の整備費用を助成した。

(2) 高齢者施設整備助成事業

- ・ 小規模多機能型施設等の円滑な開設のため、介護職員の雇い上げ経費等を対象の4施設に助成を行った。
- ・ 認知症高齢者グループホームのスプリンクラー整備費用を助成した。
平成19年の消防法改正により、既存の認知症高齢者グループホームにスプリンクラー等の設置が必要な施設面積が変更になったことを受け、その経費に対し1㎡につき9,000円を限度として該当した2つの事業所に助成した。
- ・ 小規模多機能型施設等の開設準備に必要な経費を対象の3施設に助成した。
- ・ 小規模多機能型施設等の整備に必要な工事費等の経費を対象の3施設に助成した。
- ・ 高齢者や認知症状を抱える方等に対し、地域の方々と交流できる場を提供してゆくため、その事業の立上げに係る費用を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)の整備(4-1-2-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
76,299	173,449	173,095		354
主な支出内訳				
・ 高齢者施設整備事業				
特別養護老人ホーム整備費補助金				50,000
特別養護老人ホーム整備費補助金(前年度からの繰越明許費)				30,000
・ 高齢者施設整備助成事業				
施設開設準備経費助成特別対策事業補助金				21,600
スプリンクラー等整備費補助金				4,345
介護基盤緊急整備等臨時特例基金交付金事業費補助金				63,650
地域支え合い体制づくり事業費補助金				3,500
主な特定財源				
・ 国県支出金				93,095

◎老人医療の経費

老人保健医療事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 75歳以上(一定の障害のある方は65歳以上)の市民等

意図 老人保健医療事業終了後の事務処理を行うため。

効果 老人保健医療事業終了後の事務処理を行い、後期高齢者医療制度への円滑な移行を図る。

【事業の内容】

(1) 老人保健医療事業

- ・医療機関で受診した際、老人保健法一部負担金を控除した額を国民健康保険等の各保険者からの拠出金と国、県、市町村が負担して給付する医療保健制度の運用を行った。
- ・老人保健医療制度に変わって後期高齢者医療制度が施行されたため、平成20年3月診療分までに係る事務を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,095	3,095	99		2,996
主な予算内訳				
・老人保健医療事業				
保険者別医療費通知等手数料				0
診療報酬審査支払手数料				1
医療給付費				7
医療費支給費				25
償還金				58
過誤納還付金				0
主な特定財源				
・国県支出金				
				927

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

高齢者活動運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 100歳以上の者及び公的年金を受給することができない外国籍市民の高齢者

意図 長年にわたり社会に貢献した高齢者に対して敬愛の意と長寿を祝し、また公的年金を受給できない外国籍市民に給付金を支給することにより福祉の向上を図るため。

効果 長寿のお祝いをする事及び外国籍無年金高齢者の福祉の向上

【事業の内容】

(1) 高齢者活動運営事業

- ・長寿のお祝いとして100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。

(2) 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業

- ・受給者に、月額20,000円を年2回(9月・3月)支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,387	3,387	2,989		398
主な支出内訳				
・ 高齢者活動運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
敬老祝品 100歳以上 102人				459
・ 外国籍等高齢者福祉給付金支給事業				
福祉給付金				1,200
主な特定財源				
・ 国県支出金				600

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

社会参加・生きがい対策事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者

意図 高齢者の外出機会の増の支援等を図るため。

効果 高齢者の健康維持及び介護予防を図る。

【事業の内容】

(1) 社会参加・生きがい対策事業

- ・ 65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。
- ・ デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。
- ・ 老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

(2) 高齢者活動サービス事業

- ・ 75歳以上の方を対象に市内に路線があるバス会社、江ノ島電鉄の乗車証等を購入する際に助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

高齢者活動サービスの充実(4-1-1-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,982	58,132	55,863		2,269
主な支出内訳				
・ 社会参加・生きがい対策事業				
高齢者入浴助成事業委託料				15,845
デイ銭湯事業委託料				11,596
いきいきサークル事業委託料				4,250
老人クラブ運営費補助金 79クラブ				5,150
老人クラブ連合会補助金				1,657
・ 高齢者活動サービス事業				
高齢者割引乗車証等購入費補助金				15,966
主な特定財源				
・ 国県支出金				2,006

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 25老人福祉費

◎高齢者活動の経費

シルバー人材センター支援事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 就業を希望する高齢者

意図 働くことを通じて社会に貢献し、健康と生きがい及び社会参加を図るため。

効果 高齢者の勤労意欲と健康の増進、生活感の充実及び福祉の増進を図るとともに、高齢者の能力を生かした活力ある地域づくりに寄与する。

【事業の内容】

(1) シルバー人材センター支援事業

- ・シルバー人材センターへの運営費に対する補助金交付及び運転資金貸付により、法人の円滑な運営を支援した。

(2) シルバー人材センター事業所移設・運営事業

- ・事務所の運営に係る経費を補助した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

シルバー人材センター事業所の移設(4-1-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,593	56,593	55,722		871
主な支出内訳				
・シルバー人材センター支援事業				
シルバー全国連絡協議会負担金				50
県シルバー人材センター協議会負担金				60
シルバー人材センター運営費補助金				44,012
シルバー人材センター運転資金貸付金				7,000
・シルバー人材センター事業所移設・運営事業				
シルバー人材センター事務所補助金				4,600

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

在宅福祉サービスセンター管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な施設の環境の保持を図るため。

効果 在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

【事業の内容】

(1) 在宅福祉サービスセンター管理運営事業

- ・地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、御成町、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,606	43,106	41,890		1,216
主な支出内訳				
・在宅福祉サービスセンター管理運営事業				
維持管理用消耗品費				199
光熱水費				16,167
維持修繕料				4,905
備品修繕料				112
電信料				340
自家用電気工作物保守点検手数料				397
消防設備器具保守点検手数料				621
受水槽保守点検手数料				306
昇降機保守点検手数料				1,748
ボイラー保守点検手数料				357
空調保守点検手数料				490
冷温水発生機保守点検手数料				1,077
熱交換器保守点検手数料				363
貯湯槽保守点検手数料				137
給水装置等定期点検手数料				63
総合管理業務委託料				12,557
警備業務委託料				401
自動ドア保守点検業務委託料				283
グリスラップ清掃及び油汚泥運搬処理業務委託料				264
厨房送風機保守点検業務委託料				80
樹木伐採業務委託料				53
害虫駆除業務委託料				523
自家用電気工作物清掃業務委託料				69
台在宅福祉サービスセンター地質調査委託料				378

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

老人センター等管理運営事業

【 高齢者いきいき課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【事業の内容】

(1) 老人センター等管理運営事業

- ・名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び老人いきいの家こゆるぎ荘の管理運営業務を指定管理者に委託した。
- ・前年度からの繰越明許費により、名越やすらぎセンター外壁補修修繕を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、こゆるぎ荘屋根修繕を行った。
- ・各センターの施設修繕を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
180,299	193,214	191,760		1,454
主な支出内訳				
・老人センター等管理運営事業				
維持修繕料				9,332
名越やすらぎセンター外壁補修修繕(前年度からの繰越明許費)				6,562
こゆるぎ荘屋根修繕(前年度からの繰越明許費)				5,880
老人福祉センター等指定管理料				169,986
主な特定財源				
・国県支出金				10,761

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 35国民年金事務費

◎国民年金事務の経費

国民年金事務

【

保険年金課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 国民年金被保険者等

意図 被保険者の年金受給権を確保するため。

効果 老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定がそこなわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上を図る。

【事業の内容】

(1) 国民年金事務

- ・資格関係届出、裁定請求、保険料免除申請及び老齢福祉年金諸届等の受理・審査並びに外国人20歳到達者に係る情報の年金事務所への提供、国民年金資格取得時の保険料納付督促、年金に関する広報、年金相談などを行った。
- ・特定障害者に対する特別障害給付金の支給申請の受理、審査などを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
786	786	679		107
主な支出内訳				
・国民年金事務				
臨時的任用職員賃金				211
国民年金事務用消耗品費				265
電子複写機賃借料				192
主な特定財源				
・国県支出金				679

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

児童福祉運営事業

【 こどもみらい課・保育課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 児童等

意図 児童福祉事業の円滑な執行を図るため。

効果 児童福祉事業が適切に実施される。

【事業の内容】

(1) 児童福祉運営事業

- ・児童福祉審議会を開催しなかった。
- ・こどもと家庭に関する相談窓口「こどもと家庭の相談室」の運営を行った。
- ・相談事例に専門的な見地から指導助言ができる要保護児童相談助言者を配置した。

(2) 遺児福祉基金積立金

- ・寄附金を遺児福祉基金に積み立てた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

こどもと家庭の相談事業の推進(4-1-4-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,458	24,077	22,065		2,012
主な支出内訳				
・児童福祉運営事業				
児童福祉審議会委員報酬				0
保健衛生担当嘱託員報酬 4人				4,145
事務補助嘱託員報酬 5人				5,140
こどもと家庭の相談室相談員報酬 4人				7,475
要保護児童相談助言者謝礼				80
非常勤嘱託員等費用弁償				1,093
養育支援訪問事業委託料				123
こどもと家庭の相談室用パソコン賃借料				30
・遺児福祉基金積立金				
遺児福祉基金積立金				144
主な特定財源				
・国県支出金				
				7,446
こどもと家庭の相談室の相談状況				
相談件数	1,278件			
うち新規相談	407件			
(うち新規虐待件数(疑いを含む) 141件)				
うち継続相談	871件			

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎児童福祉一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

こどもみらい部(青少年課及び発達支援室発達相談担当の一部を除く)
健康福祉部保険年金課(医療給付担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			1,164,575
・ 給料	一般職		548,593
	一般職職員	142人	
	再任用(短時間)	4人	
・ 職員手当等			409,267
	扶養手当		9,274
	地域手当		84,424
	通勤手当		11,284
	超過勤務手当		51,458
	休日給		147
	管理職手当		4,959
	特殊勤務手当		1,063
	期末勤勉手当		219,047
	住居手当		22,620
	子ども手当		4,991
・ 共済費			206,715
	市町村職員共済組合負担金		183,964
	社会保険料		18,465
	雇用保険料		4,286

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

子育て支援事業

【 こどもみらい課・こども相談課他 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。

効果 子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

【事業の内容】

(1) 子育て支援事業

- ・子育て家庭に情報提供をするために子育て支援コンシェルジュを配置した。
- ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどを開催した。
- ・子育て中の親子に対し身近に集える場を提供し、親子同士が気軽に交流できるようにした。
- ・子育て中の保護者の病気、出産、育児不安などにより、児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護する事業については申請がなかった。
- ・放射線簡易測定器を購入し、民間の子ども関連施設への貸出に備えた。

(2) 在宅子育て家庭支援事業

- ・妊娠中の方や小学生までの子どものいる家庭を対象に、ファミリーサポートセンターの機能を活用して家事支援を実施し子育て負担の軽減を図った。また、ファミリーサポートセンター以外の事業者を利用した場合にも利用料の助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援の充実(4-1-4-①)

在宅子育て家庭の支援(4-1-4-⑤)

短期入所生活援助(ショートステイ)事業の実施(4-1-4-⑬)

つどいの広場の整備(4-1-4-21)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,311	13,433	11,829		1,604
主な支出内訳				
・子育て支援事業				
子育て支援コンシェルジュ謝礼				2,302
子育て支援行事等実施委託料				475
子育て親子講座実施委託料				403
つどいの広場事業実施委託料				3,777
子育て短期支援事業業務委託料				0
・在宅子育て家庭支援事業				
在宅子育て家庭支援事業委託料				2,610
在宅子育て家庭支援事業利用料補助金				1,597
主な特定財源				
・国県支出金				3,101

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

次世代育成支援対策推進事業

【

こどもみらい課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 市民が安心して子どもを生み育てることができ、子どもが心身ともに健やかに育つことができる環境を整備するため。

効果 「子どもが健やかに育つまち、子育ての喜びが実感できるまち、子育て支援を通してともに育つまち・鎌倉」の実現

【事業の内容】

(1) 次世代育成支援対策推進事業

・次世代育成支援対策協議会を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

次世代育成支援対策の推進(4-1-4-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
498	400	252		148

主な支出内訳

・次世代育成支援対策推進事業

次世代育成支援対策協議会委員謝礼

250

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【事業の内容】

(1) 育児支援事業

- ・ ゆとりある子育て環境をつくるため鎌倉、深沢及び大船の子育て支援センターを運営し、子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や育児相談に対応した。また、親子で自由にゆっくりくつろげるフリースペースの「子育てひろば」を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援センターの充実(4-1-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,785	23,785	23,670		115
主な支出内訳				
・ 育児支援事業				
鎌倉・深沢・大船子育て支援センター指定管理料				22,442
主な特定財源				
・ 国県支出金				8,114
子育て支援センター利用状況				
・ 鎌倉子育て支援センター		延	9,573人	
・ 深沢子育て支援センター		延	7,018人	
・ 大船子育て支援センター		延	12,623人	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

育児家庭支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭等

意図 育児・介護等の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、会員同士で相互援助活動を行うため。

効果 地域ぐるみで子育て家庭や高齢者等の介護を支え、心豊かに暮らせる状況の実現

【事業の内容】

(1) 育児家庭支援事業

- ・ 育児、高齢者等に対する軽易な介護等の援助を受けたい人と援助したい人からなる有償ボランティアの会員組織であるファミリーサポートセンターで、アドバイザーが会員間の調整や援助活動等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ファミリーサポートセンターの運営(4-1-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,649	8,649	8,532		117
主な支出内訳				
・ 育児家庭支援事業				
ファミリーサポートセンター運営委託料				8,077
主な特定財源				
・ 国県支出金				7,906
ファミリーサポートセンター会員数と活動状況				
会員数				
育児	支援会員 525人	依頼会員 1,768人	両方会員 126人	
介護	支援会員 375人	依頼会員 79人	両方会員 14人	
活動状況				
育児	7,520件			
介護	801件			

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎子育て支援の経費

子ども会館・子どもの家管理運営事業

【 こどもみらい課・青少年課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

青少年育成: 青少年が健全に成長・発達しているまち

【事業の目的】

対象 市内に居住する乳幼児・小中学生等

意図 子どもに健全な遊び場を与え、心身の健やかな育成を図るほか、放課後等に家庭において保護者の適切な世話を受けられない児童に対して、家庭的な指導を行うため。

効果 心身ともに健やかな成長を図る。

【事業の内容】

(1) 子ども会館・子どもの家管理運営事業

- ・各小学校区に子どもの家を設置し、指導員のもと学童保育を行うとともに、子どもの家に併設又は単独で設置する子ども会館により、地域の乳幼児・小中学生に遊び場を提供した。
- ・第一小学校区の子ども会館・子どもの家の本格的建設にともなう、設計業務等を行った。
- ・深沢子ども会館の運営を市民活動団体とともに行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、第一小学校区の子どもの会館・子どもの家整備計画にともなう測量業務及び地質調査業務委託を実施した。
- ・ふかさわ子どもの家(旧かじわら子どもの家)を深沢小学校内に移転した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子ども会館・子どもの家の整備(4-4-2-①)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
225,415	230,378	214,723		15,655
主な支出内訳				
・ 子ども会館・子どもの家管理運営事業				
こども育成専任指導員報酬 21人				61,341
こども育成指導員報酬 94人				93,507
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
夏期及び障害児対応アルバイト賃金				9,222
子ども会館・子どもの家消耗品費				6,815
子ども会館・子どもの家光熱水費				5,805
子ども会館・子どもの家修繕料				6,998
鎌倉体育館高压線引込設備改修修繕料				2,822
第一小学校区子ども会館・子どもの家設計業務委託料				3,780
第一小学校区子ども会館・子どもの家家屋調査(事前)業務委託料				168
機械警備委託料				1,137
子どもの家利用料徴収システム機能強化委託料				534
軽作業委託料				271
子どもの家利用料徴収システム保守委託料				158
備品等廃棄物収集運搬処分等委託料				349
鎌倉体育館仮駐車場整備委託				294
鎌倉体育館仮駐車場外灯設置業務委託				208
第一小学校区子ども会館・子どもの家整備計画地質調査業務委託 (前年度からの繰越明許費)				2,090

第一小学校区子ども会館・子どもの家整備計画測量業務(前年度からの繰越明許費)	492
子どもの家賃借料(第一小学校区分)	2,670
鎌倉体育館高压線引込設備改修 代替駐車場賃借料	0
子ども会館・子どもの家備品購入費	651
深沢子ども会館運営事業負担金	2,987
だいいち子どもの家光熱水費負担金	518

主な特定財源

・ 国県支出金	33,234
---------	--------

子ども会館利用状況

(単位:人)

二階堂	長谷	七里ガ浜	腰越	西鎌倉	梶原	深沢	富士塚	山崎	大船第一	大船第二	岩瀬	玉縄	植木	合計
5,877	7,867	5,708	2,154	1,299	4,444	6,790	2,408	1,510	10,120	2,309	4,180	4,820	4,966	64,452

子どもの家利用状況(高学年児童を含む)

(単位:人)

にかいどう	だいいち	おなり	いなむらがさき	しちりがはま	こしこえ	にしかまくら	ふかさわ	ふじづか	やまさき	おおふな第一	おおふな第二	いわせ	たまなわ	うえき	せきや	合計
6,836	16,172	13,030	4,062	3,088	4,869	10,156	16,553	7,765	15,697	10,505	7,439	6,393	8,225	5,441	4,890	141,121

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 5児童福祉総務費

◎小児医療の経費

小児医療助成事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳～小学校6年生の入・通院した者と、中学生の入院した者

意図 医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。

効果 小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

【事業の内容】

(1) 小児医療助成事業

- ・食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)

【中事業に含まれる実施計画事業】

小児医療費の助成(4-1-4-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
474,005	474,005	431,247		42,758

主な支出内訳

・小児医療助成事業

臨時的任用職員賃金	661
医療助成事務用消耗品費	109
受診証印刷製本費	0
診療報酬明細書印刷製本費	47
審査支払等手数料	11,524
医療扶助費	418,906

主な特定財源

・国県支出金	64,531
--------	--------

助成件数 延 235,147件 月平均対象者 14,490人

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎児童手当の経費

児童手当支給事業

【

こども相談課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 平成21年度までの児童手当受給資格者でかつ現況届未提出者等のうち、受給権が時効により失効していない者

意図 児童を養育していた者に児童手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 児童手当支給事業

- 児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、児童を養育していた者に手当を支給した。

支給額 第1・2子…… 5,000円(月額) ※ただし、3歳未満は、10,000円(月額)

第3子以降… 10,000円(月額)

- 受給者が確定していなかった案件の過年度分を随時で支払った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,800	2,800	30		2,770
主な支出内訳				
・ 児童手当支給事業				
児童手当				
0～3歳未満	月額10,000円	2人分		20
3歳～小学校修了前				
(第1・2子)	月額 5,000円	2人分		10
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				580

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎子ども手当の経費

子ども手当支給事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 0歳から15歳に到達した最初の年度末(3月31日)までの間にある子ども(中学校修了前の児童)を養育している者

意図 子どもを養育している者に子ども手当を支給するため。

効果 家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う子どもの健全な育成及び資質の向上に資する。

【事業の内容】

(1) 子ども手当支給事業

- ・前年度からの繰越明許費により、子ども手当システムの改修を行った。
- ・子どもの健全な育成及び資質の向上に資することを目的に、子どもを養育している者に手当を支給した。所得制限なし。

支給額 平成23年2月～9月分(つなぎ法) 13,000円(一人当たり月額)

平成23年10月～平成24年1月分(特措法)

3歳未満 15,000円

3歳以上小学校修了前1子・2子 10,000円

3歳以上小学校修了前3子以降 15,000円

中学校修了前 10,000円

- ・子ども手当支給のためのシステム管理等に係る経費を支出した。
- ・児童手当支給のためのシステム改修については、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,848,518	3,107,310	3,087,078	19,950	282
主な支出内訳				
・子ども手当支給事業				
臨時的任用職員賃金				1,811
子ども手当消耗品費				714
子ども手当印刷製本費				291
銀行等振込手数料				0
子ども手当郵便料				2,215
子ども手当システム特措法対応(一括消滅、印刷処理及び入力機能導入等)				4,800
業務委託料(前年度からの繰越明許費)				
子ども手当システム特措法対応(支払、異動、統計機能導入等)業務委託料				3,913
児童手当システム改修委託料(翌年度への繰越明許費)				0
子ども手当システム運用支援業務委託料等				4,198
子ども手当システム賃借料				1,768

子ども手当

2月～9月分(つなぎ法)	月額	13,000円	延	165,636人分	2,153,268
10月～1月分(特措法)					
3歳未満	月額	15,000円	延	14,323人分	214,845
3歳以上小学校修了前1子・2子	月額	10,000円	延	47,268人分	472,680
3歳以上小学校修了前3子以降	月額	15,000円	延	4,563人分	68,445
中学校修了前	月額	10,000円	延	15,813人分	158,130

主な特定財源

・国県支出金					2,681,564
--------	--	--	--	--	-----------

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎入院助産等の経費

入院助産等事業

【

こども相談課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 経済的な理由により、出産が困難な家庭等

意図 母子の保護を図るため。

効果 母子の生活の安定と自立の促進を図る。

【事業の内容】

(1) 入院助産等事業

- ・経済的な理由により、出産が困難な家庭に出産の扶助を行った。
- ・母子家庭で児童の養育が十分にできない場合、自立促進に向けて、母子をともに生活支援施設に入所させて保護する事業については申請がなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,785	2,066	1,193		873
主な支出内訳				
・入院助産等事業				
助産施設入所費 3件				1,193
母子生活支援施設入所費				0
主な特定財源				
・国県支出金				1,156

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

私立保育所等入所事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所等入所事業

- ・市内の私立保育所に入所している児童に係る運営扶助費を執行した。
- ・市外の公私立保育所に入所している児童に係る管外委託運営扶助費を執行した。
- ・市外の私立保育所に入所している児童に係る管外委託法外扶助費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園扶助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(扶助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,208,164	1,208,164	1,180,869		27,295
主な支出内訳				
・私立保育所等入所事業				
私立保育所運営扶助費 12園				1,131,475
管外委託運営扶助費				44,685
管外委託法外扶助費				4,709
主な特定財源				
・国県支出金				496,559

私立保育所運営費扶助費

区分	運営費	延児童数
保育園	(千円)	(人)
富士愛育園	109,389	1,568
聖アンナの園	115,996	1,825
岩瀬保育園	142,583	1,177
岩瀬保育園分園		513
オレンジ	47,274	525
清心保育園	88,407	1,042
こばとナーサリー	69,319	843
大船ひまわり保育園	71,567	733
たんぽぽ共同保育園	142,132	863
たんぽぽ共同保育園梶原分園		623
山崎保育園	90,453	1,173
ピヨピヨ保育園	73,516	705
アワーキッズ鎌倉(本園)	99,103	922
アワーキッズ鎌倉(分園)		1,033
アワーキッズ鎌倉(本園)	81,736	1,283
計	1,131,475	14,828

管外委託扶助費及び管外委託法外扶助費

区分	運営費	法外扶助費	延児童数
保育園	(千円)	(千円)	(人)
管外公立保育所	9,428	0	190
管外民間保育所	35,257	4,709	483
計	44,685	4,709	673

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

私立保育所助成事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している私立保育所に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 私立保育所における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 私立保育所助成事業

- ・私立保育所の運営費に対する民間保育所運営費補助金を交付した。
- ・障害児の保育に対する障害児保育事業費補助金を交付した。
- ・開所時間11時間及び延長保育を実施するために要する経費に対し延長保育事業等補助金を交付した。
- ・職員の雇用、入所児童の処遇改善等に対する民間保育所運営改善費補助金を交付した。
- ・一時預かり事業等に必要な経費に対する一時預かり事業等補助金を交付した。
- ・休日保育事業に必要な経費に対する休日保育事業補助金を交付した。
- ・私立保育所の整備費に対する安心こども交付金を交付した。
- ・認定こども園鎌倉みどり学園新設工事に係る安心こども交付金については、翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(私立保育園運営補助)(4-1-4-⑰)

認定こども園の設置(運営補助)(4-1-4-23)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
480,373	653,832	479,977	163,689	10,166
主な支出内訳				
・私立保育所助成事業				
民間保育所運営費補助金				184,359
障害児保育事業費補助金				1,779
延長保育事業等補助金				79,977
民間保育所運営改善費補助金				193,999
一時預かり事業等補助金				5,001
休日保育事業補助金				1,101
安心こども交付金(岩瀬保育園大規模修繕及び山崎保育園大規模修繕)				13,761
安心こども交付金(認定こども園鎌倉みどり学園新設工事)				0
(翌年度への繰越明許費)				
主な特定財源				
・国県支出金				139,556

私立保育所補助金

単位:千円

区分	保育所	富士	アテナ	岩瀬	オレンジ	清心	こばと	大船 ひまわり	たんぽぽ	山崎	ビヨビヨ	アークキッズ 鎌倉	アークキッズ 大船	市外	計
民間保育所運営費補助金															
(特別経常費)		2,850	0	780	0	0	1,489	0	2,403	0	0	0	0	0	7,522
(基本分)		4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	4,125	0	49,500
(利用者別基礎加算)		9,416	10,264	11,254	6,610	8,768	5,261	5,556	13,192	6,860	5,793	14,317	14,047	1,220	112,558
(開所時間加算)		399	479	436	227	275	248	186	378	298	183	500	346	48	4,003
(障害児加算)		0	0	3,438	688	0	0	1,260	2,063	0	1,031	286	57	0	8,823
(地域育児センター加算)		150	0	300	0	300	0	259	300	81	150	300	113	0	1,953
(級地格差是正加算)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計		16,940	14,868	20,333	11,650	13,468	11,123	11,386	22,461	11,364	11,282	19,528	18,688	1,268	184,359
障害児保育事業費補助金															
(障害児推進費特別対策事業費)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	445	889	445	0	1,779
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	445	889	445	0	1,779
延長保育事業等補助金															
(開所時間延長促進事業費)		4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	4,519	0	54,228
(延長保育事業費)		2,216	2,602	2,409	2,322	2,057	2,390	2,382	2,000	2,334	1,377	2,327	1,333	0	25,749
小計		6,735	7,121	6,928	6,841	6,576	6,909	6,901	6,519	6,853	5,896	6,846	5,852	0	79,977
民間保育所運営改善費補助金															
(職員加算)		4,720	4,720	4,720	4,720	4,720	4,100	4,720	4,720	4,382	4,720	4,720	4,720	0	55,682
(経営改善費)		8,004	7,716	10,522	4,248	7,231	6,517	6,559	10,498	7,495	6,898	10,128	7,614	0	93,430
(処遇改善費)		3,002	3,468	3,273	1,015	2,025	1,625	1,397	2,823	2,244	1,383	3,944	2,518	0	28,717
(健康管理費)		208	208	208	208	208	208	138	208	208	208	72	42	0	2,124
(災害共済負担費)		50	59	47	26	42	30	24	46	37	0	66	41	0	468
(分園運営支援費)		0	0	3,276	0	0	0	0	3,738	0	0	6,564	0	0	13,578
小計		15,984	16,171	22,046	10,217	14,226	12,480	12,838	22,033	14,366	13,209	25,494	14,935	0	193,999
一時預かり事業等補助金															
(一時預かり事業等補助金)		0	0	0	0	203	650	0	2,058	2,090	0	0	0	0	5,001
小計		0	0	0	0	203	650	0	2,058	2,090	0	0	0	0	5,001
休日保育事業補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	1,101	0	0	0	0	1,101
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	1,101	0	0	0	0	1,101
合計		39,659	38,160	49,307	28,708	34,473	31,162	31,125	53,071	35,774	30,832	52,757	39,920	1,268	466,216

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 10児童支援費

◎施設保育の経費

認可外保育施設助成事業

【 保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 市内在住の児童が入所している認可外保育施設に対し補助を行い施設経営の健全化を図るため。

効果 認可外保育施設における児童の処遇向上等、及び施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組むことができる。

【事業の内容】

(1) 認可外保育施設助成事業

- ・ 認定保育施設等に入所している児童の保育に要する経費を助成した。
- ・ 認定保育施設等の施設整備、入所児童の処遇改善に要する経費を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
49,167	33,425	24,961		8,464
主な支出内訳				
・ 認可外保育施設助成事業				
認定保育施設運営改善費補助金				24,408
届出保育施設運営改善費補助金				553
主な特定財源				
・ 国県支出金				6,090

認可外保育施設補助金

単位:千円

区分	保育所	保育室 みつばち	保育室 アーモ玉縄	保育所 のぞみ	まんまる 保育室	市外認定 保育施設	計
認定保育施設運営改善費補助金							
①認定保育施設運営改善費補助金							
(児童処遇助成費)		0	0	0	0	0	0
(児童処遇助成費加算 (兄弟入所))		0	0	0	0	0	0
(児童処遇助成費加算 (母子父子))		0	0	0	0	0	0
小計		0	0	0	0	0	0
②新認定保育施設児童処遇助成等補助金							
(児童処遇助成費)		6,980	5,037	4,469	0	0	16,486
(児童処遇助成費加算 (兄弟入所))		36	0	0	0	0	36
(児童処遇助成費加算 (母子父子))		92	0	45	0	0	137
(特別保育費)		228	684	152	0	0	1,064
(従事者研修費)		0	0	0	0	0	0
(待機児童)		2,795	1,950	1,940	0	0	6,685
(認定化促進事業)		0	0	0	0	0	0
小計		10,131	7,671	6,606		0	24,408
届出保育施設運営改善費補助金							
(児童健康管理費)		184	0	136	40	0	360
(従事者健康管理費)		78	0	48	22	0	148
(施設賠償責任保険)		15	0	15	15	0	45
小計		277	0	199	77	0	553
合計		10,408	7,671	6,805	77	0	24,961
年間入所延児童数		345	206	225	41	0	

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎母子等福祉の経費

母子生活支援事業

【 こども相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子家庭等(ひとり親家庭)

意図 母子家庭等(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進を図るため。

効果 母子家庭等(ひとり親家庭)の安定した生活の維持

【事業の内容】

(1) 母子生活支援事業

- ・離婚などで父親又は母親と生計を同じくしていない児童や父親又は母親が重度の障害の状態にある場合、児童の養育者に対して児童扶養手当法に基づく手当を支給した。
- ・ひとり親への支援として母子家庭自立支援教育訓練給付金、母子家庭高等技能訓練促進費、家賃助成、ひとり親家庭等日常生活支援、福祉資金の貸付けを行った。
- ・遺児が中学校を卒業するにあたり卒業祝金を、ひとり親家庭等の児童が大学に進学する際に支度金を贈呈した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

母子家庭の自立支援(4-1-4-⑳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
345,836	353,886	351,943		1,943
主な支出内訳				
・母子生活支援事業				
母子自立支援員報酬 2人				5,107
児童扶養手当認定医報酬				15
遺児卒業祝金 贈呈件数10件				300
ひとり親家庭等児童大学進学支度金 交付件数39件				2,340
児童扶養手当消耗品費				57
ひとり親家庭等日常生活支援業務委託料				0
鎌倉市母子寡婦福祉会補助金				75
母子家庭自立支援教育訓練給付金補助金 4件				60
母子家庭等家賃助成 助成世帯 314世帯				25,925
児童扶養手当 受給者数 733人				306,944
母子家庭高等技能訓練促進費 9件				10,771
母子福祉資金貸付金				0
社会福祉基金積立金				6
主な特定財源				
・国県支出金				121,900

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 15母子福祉費

◎ひとり親家庭等医療の経費

ひとり親家庭等医療助成事業

【 保険年金課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 母子又は父子家庭等のこどもとその養育者

意図 医療費を助成することにより、その生活の安定及び自立を支援し、福祉の増進を図るため。

効果 ひとり親家庭等の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成することで生活の安定と自立を支援する。

【事業の内容】

(1) ひとり親家庭等医療助成事業

- ・ひとり親家庭等の高校卒業前のこどもとその養育者の、食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額を除く健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。一定の所得制限を設けている。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
65,610	78,710	73,689		5,021

主な支出内訳

- ・ひとり親家庭等医療助成事業

臨時的任用職員賃金	37
医療助成事務等消耗品費	14
受診証印刷製本費	16
診療報酬明細書印刷製本費	22
審査支払手数料	1,314
医療扶助費	72,286

主な特定財源

- ・国県支出金 31,589

助成件数 延 23,605件 月平均対象者 1,825人

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎保育所の経費

公立保育所管理運営事業

【 こどもみらい課・保育課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 公立保育所の効率的な運用と維持管理を行うとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 公立保育所運営事業

- ・公立保育所の保育士、給食調理員等の賃金を執行した。
- ・公立保育所の給食に係る経費を執行した。
- ・病後児保育事業に係る経費を執行した。
- ・寺分保育園民営化に係る引継業務の委託を実施した。
- ・給食食材の放射性物質濃度測定に係る経費を執行した。
- ・放射線簡易測定器を購入し、公立保育所へ配置するとともに民間の子ども関連施設への貸出に備えた。
- ・家庭的保育事業に係る経費は、保育者の応募がなかったため未執行となった。
- ・その他公立保育所の運営に係る経費を執行した。

(2) 公立保育所管理事業

- ・公立保育所の維持管理に係る経費の効率的な執行を図った。
- ・前年度からの繰越明許費により、腰越保育園の耐震診断を実施した。
- ・腰越保育園の耐震工事に係る設計業務委託を実施した。
- ・土壌放射性物質濃度測定に係る経費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

低年齢児保育の充実(4-1-4-⑨)

一時預かりの拡充(4-1-4-⑫)

病後児施設型保育の実施(4-1-4-⑮)

公立保育園の民営化計画(4-1-4-⑲)

子育て支援施設の耐震化(4-1-4-24)

家庭的保育事業(4-1-4-25)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
450,717	445,809	414,221		31,588
主な支出内訳				
・公立保育所運営事業				
保育所嘱託医報酬(小児科・耳鼻科・眼科・歯科医) 29人				2,936
保育等嘱託員報酬 20人				21,250
産休・育休代替等臨時的任用職員賃金				132,034
保育用消耗品費				7,131
放射線簡易測定器7台他購入費				791
給食賄材料費				58,335
給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費				70
検便・ぎょう虫・検体検査手数料				846

給食食材の放射性物質濃度測定手数料	1,213
保育士派遣業務委託料	31,755
給食調理業務等委託料	54,285
病後児保育委託料	13,970
家庭的保育事業委託料	0
寺分保育園引継保育業務委託料	21,602
・ 公立保育所管理事業	
光熱水費	21,500
修繕料	12,634
消防用設備保守点検等手数料	1,954
土壌放射性物質濃度測定手数料	106
清掃・用務・軽作業委託料	14,532
警備等委託料	5,605
腰越保育園耐震診断業務委託(前年度からの繰越明許費)	1,313
腰越保育園耐震改修工事設計業務委託	2,730
保育用器具等備品購入費	3,461
主な特定財源	
・ 国県支出金	2,591
年間入所延人数	
材木座保育園 1,282人	寺分保育園 1,193人
稲瀬川保育園 1,176人	大船保育園 972人
腰越保育園 1,317人	岡本保育園 1,280人
深沢保育園 1,329人	合計 8,549人

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎保育所の経費

分園運営事業

【

保育課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童

意図 両親が働いていたり病気のため、家庭で保育できない就学前児童の保育を行うため。

効果 私立保育所の施設経営の健全化を図るとともに、待機児童対策に取り組む。

【事業の内容】

(1) 分園運営事業

- ・玉縄地域の待機児童解消対策の暫定的な措置として、私立保育所の分園形式による保育園に係る経費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

待機児童対策施設の整備(施設運営)(4-1-4-⑰)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,109	12,833	12,809		24
主な支出内訳				
・分園運営事業				
土地賃借料				1,973
園舎リース料				10,836

(款) 15民生費 (項) 10児童福祉費 (目) 20児童福祉施設費

◎あおぞら園の経費

あおぞら園管理運営事業

【 こどもみらい課・発達支援室 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 知的発達につまづきのある幼児

意図 知的障害児通園施設において、日常生活にとって必要な基本的な生活習慣や社会性の発達を援助し、障害児の自立を育成するため。

効果 障害児が住みなれた地域社会の中で、普通に暮らしていけるようにするため自立に必要な能力の育成を図り、社会への適応性を身につけていくこと

【事業の内容】

(1) あおぞら園運営事業

- ・ 知的発達につまづきのある幼児に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助した。
- ・ 給食食材の放射性物質濃度測定に係る経費を執行した。

(2) あおぞら園管理事業

- ・ あおぞら園の管理及び通園バスの運行に係る経費を執行した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、あおぞら園の耐震診断を実施した。
- ・ 土壌放射性物質濃度測定に係る経費を執行した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援施設の耐震化(4-1-4-24)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,227	53,899	47,847		6,052
主な支出内訳				
・ あおぞら園運営事業				
嘱託医報酬				
精神科医師	1人			791
小児科医師	1人			142
眼科医師	1人			69
耳鼻科医師	1人			69
栄養・給食等嘱託員報酬				
栄養・給食担当	1人			1,728
給食担当	2人			1,619
事務補助	3人			2,028
臨時的任用職員賃金				
				3,198
給食賄材料費				
				4,618
給食食材放射性物質濃度測定用賄材料費				
				5
給食食材の放射性物質濃度測定手数料				
				154
普通傷害保険料				
				405
保育士派遣委託料				
				4,885
県社会福祉協議会会費負担金				
				25
市社会福祉協議会会費負担金				
				3

・あおぞら園管理事業	
光熱水費	2,278
修繕料	5,539
自家用電気工作物保安管理等手数料	395
土壌放射性物質濃度測定手数料	15
総合施設管理業務委託料	5,670
警備委託料	114
通園バス運行委託料	11,005
自動ドア保守点検等委託料	149
あおぞら園耐震診断業務委託(前年度からの繰越明許費)	1,313

主な特定財源

・国県支出金	1,313
--------	-------

利用状況

・知的障害児通園施設

開園日数:223日 年間延べ児童出席総数:6,013人

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

生活保護事務

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 生活保護事務

- ・ 病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護の事務経費を執行した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,972	6,217	5,555		662
主な支出内訳				
・ 生活保護事務				
嘱託医報酬(一般・精神科) 2人				1,606
就労支援員報酬 1人				970
社会保障生計調査手当 6世帯				245
一般診療等審査手数料				1,001
レセプト点検事業委託料				462
保護費封入委託料				844
住宅片付事業委託料				0
生活保護等版レセプト管理システム保守委託料				213
紙レセプト電子化作業委託料				0
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,898

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 5生活保護総務費

◎生活保護の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部のうち福祉総務課・生活福祉課(保護担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			76,354
・ 給料	一般職		
	一般職職員	11人	34,765
・ 職員手当等			30,171
	扶養手当		487
	地域手当		5,288
	通勤手当		899
	超過勤務手当		7,096
	休日給		11
	特殊勤務手当		365
	期末勤勉手当		13,183
	住居手当		2,698
	子ども手当		144
・ 共済費			
	市町村職員共済組合負担金		11,418

(款) 15民生費 (項) 15生活保護費 (目) 10扶助費

◎生活保護扶助の経費

扶助事業

生活福祉課

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 生活に困窮した市民等

意図 困窮の程度に応じて必要な保護を行うため。

効果 最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長する。

【事業の内容】

(1) 扶助事業

- ・病気その他さまざまな理由により収入がなくなり、毎日の生活を維持していくことが困難になった場合に、最低限度の生活を保障する生活保護費の支給を行った。

保護率の状況(平成24年3月31日現在)

区 分	総 人 口	保護人員	保 護 率
鎌 倉 市	174,161人	822人	0.47%
神奈川県	9,052,730人	150,616人	1.66%

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,616,373	1,616,199	1,505,210		110,989
主な支出内訳				
・ 扶助事業				
生活扶助費	延 8,851 人	実 738 人		517,457
医療扶助費	延 6,853 人	実 571 人		619,671
教育扶助費	延 433 人	実 36 人		4,193
住宅扶助費	延 8,187 世帯	実 682 世帯		294,119
生業扶助費	延 134 人	実 11 人		2,546
出産扶助費	延 0 人	実 0 人		0
葬祭扶助費	延 8 人	実 8 人		2,225
施設事務費	延 98 人	実 8 人		14,293
介護扶助費	延 1,554 人	実 130 人		50,706
主な特定財源				
・ 国県支出金				1,291,847

(款) 15民生費 (項) 20災害救助費 (目) 5災害救助費

◎災害救助の経費

救助事業

【 福祉総務課・生活福祉課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 被害を受けた、または、被害を受けるおそれのある市民

意図 対象者に対して災害援護を行うため。

効果 対象者の生活が保障される。

【事業の内容】

(1) 救助事業

- ・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金・弔慰金を支給した。
- ・異常な自然現象により被害を受けた方に対して、生活の立て直しに資するため、災害援護資金の貸付けを行う(平成23年度は貸付対象となる災害はなし)。
- ・東日本大震災により鎌倉市に避難してきた被災者及び自主避難者に対して、生活支援金等を支給した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,790	38,190	24,033		14,157

主な支出内訳

・救助事業

風水害避難所開設用消耗品費	180
小災害見舞金(4件)	110
小災害弔慰金(1件)	1,000
住宅家賃等扶助費(155件)	6,685
生活支援金(396件)	16,058
災害援護資金貸付金(0件)	0

◎保健衛生一般の経費

保健衛生運営事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民一人ひとりの保健衛生知識の啓発を図るとともに、補助団体等の活動促進のため。

効果 市民の健康衛生水準の向上

【事業の内容】

(1) 保健衛生運営事業

- ・市民への健康啓発等を行っている団体の運営を推進するために補助金を交付した。
- ・産科医師等に分娩手当を支給している医療機関に対し補助金を交付した。
- ・出産環境を改善するために、鎌倉市医師会立産科診療所の運営事業を支援した。
- ・財政支援をすることから、鎌倉市医師会立産科診療所の運営内容について透明性を確保するため、市民、学識経験者を交えた運営協議会を開催した。

(2) 献血事業

- ・日本赤十字血液センターが街頭等で実施する献血事業に対して、献血者への謝礼を配布した。謝礼については前年度購入分に対応した。あわせてホームページや広報かまぐらの活用、市内事業所や町内会等との連携を通じて献血への参加を呼びかけた。

(3) 地域自殺対策事業

- ・命の大切さ、自分や周りの人の命に関する意識を高めた。
- ・保健事業及び健康づくり事業等の中で、自殺に関する基本的な知識の周知啓発を図った。
- ・自殺につながる様々な問題の相談窓口の周知を図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ハッピーバース支援(産科診療所の運営支援) (4-1-2-⑱)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,861	63,791	62,496		1,295
主な支出内訳				
・保健衛生運営事業				
産科診療所運営協議会委員報償				104
救急医療・健診等保険料				906
はじめまして赤ちゃん事業委託料				240
地域医療センター維持管理費負担金				2,983
県ドクターヘリ運営事業運営費負担金				521
医師会運営費補助金				3,544
歯科医師会運営費補助金				1,921
衛生協議会運営費補助金				3,317
薬剤師会運営費補助金				110
助産師会等運営費補助金				217
産科医師分娩手当補助金				383
産科診療所運営費補助金				47,529

・ 献血事業	
献血協力者謝礼	0
・ 地域自殺対策事業	
講演会等講師謝礼	201
啓発用消耗品費	297
主な特定財源	
・ 国県支出金	881

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎保健衛生一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

健康福祉部市民健康課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			215,403
・ 給料	一般職		
	一般職職員	33人	102,824
・ 職員手当等			76,009
	扶養手当		1,972
	地域手当		15,870
	通勤手当		2,704
	超過勤務手当		7,830
	休日給		82
	管理職手当		1,004
	特殊勤務手当		36
	期末勤勉手当		40,501
	住居手当		4,763
	子ども手当		1,247
・ 共済費			36,570
	市町村職員共済組合負担金		36,384
	雇用保険料		186

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 5保健衛生総務費

◎救急医療対策の経費

救急医療対策事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の急病などに対応するため。

効果 休日・夜間の急病への迅速な対応

【事業の内容】

(1) 休日夜間急患診療所事業

- ・休日、夜間に地域医療センターで内科系の疾患に対し急患診療を行った。

(2) 二次救急医療確保対策事業

- ・緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。

(3) 救急医療情報提供事業

- ・市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。

(4) 休日急患歯科診療所事業

- ・休日昼間にレイ・ウェル鎌倉で歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

休日急患歯科診療所の運営(4-1-3-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
148,064	148,064	147,181		883
主な支出内訳				
・休日夜間急患診療所事業				
休日夜間急患診療所業務委託料(休日71日、夜間366日、応需件数1,471件)				43,124
・二次救急医療確保対策事業				
病院群輪番制業務委託料(7医療機関、内科・外科、応需件数4,411件)				85,132
単独医療機関制業務委託料(内科・外科、応需件数8,706件)				9,853
・救急医療情報提供事業				
救急電話音声自動対応業務委託料				252
・休日急患歯科診療所事業				
休日急患歯科診療所業務委託料(休日(年末年始含む)、応需件数309件)				6,538
休日急患歯科診療所管理等委託料				802
主な特定財源				
・国県支出金				5,029

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎予防接種の経費

予防接種事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市内在住の乳幼児等

意図 感染症の発生、まん延を予防するため。

効果 抵抗力をつけ、感染症の流行を抑え、また重症化を防止する。

【事業の内容】

(1) 予防接種事業

- ・ 集団接種(ポリオ)、個別接種(BCG、MR、麻しん、風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎、インフルエンザ(65歳以上の者等))の定期予防接種を実施した。
- ・ 子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の任意予防接種を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

任意の予防接種事業(4-1-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
506,246	473,913	428,715		45,198
主な支出内訳				
・ 予防接種事業				
ポリオ集団接種受付事務等賃金				3,203
予防接種ワクチン等医薬材料費				74,531
予防接種等委託料				345,392
ポリオ医師派遣委託料				2,540
予防接種費用自己負担金補助金				1,439
主な特定財源				
・ 国県支出金				163,931

予防接種ごとの接種人数

予防接種ごとの接種人数	接種人数(延)
DPT三種混合	5,074人
DT二種混合	1,298人
ポリオ(急性灰白髄炎)	2,057人
日本脳炎	8,483人
MR混合(麻しん風しん)	4,896人
麻しん単抗原	10人
風しん単抗原	15人
BCG	1,103人
インフルエンザ	20,864人
子宮頸がんワクチン	5,348人
ヒブワクチン	4,950人
小児用肺炎球菌ワクチン	5,690人
合 計	59,788人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 10予防費

◎感染症対策の経費

感染症対策事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 感染症に対する啓発と発生初期の対応を行うため。

効果 感染症の発生、まん延を予防し、発生初期に拡大を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 感染症対策事業

- ・感染症等が発生した場合、県知事の指示により、汚染された場所の消毒等を行うが、本年度は発生しなかった。
- ・感染症に対する正しい知識の普及を図り、市民の感染症への正しい理解を深めるため、啓発冊子等により啓発に努めた。
- ・新たな感染症(強毒型インフルエンザ等)が発生した場合に、市民へのまん延防止と医療機関の混乱を避けるために開設する発熱外来の施設維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,143	4,143	301		3,842

主な支出内訳

・感染症対策事業

感染症対策啓発パンフレット等消耗品費	45
発熱外来光熱水費	163
感染症対策事業用医薬材料費	10
発熱外来電信料	83
発熱外来委託料	0

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

成人保健事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民の健康の維持増進のための啓発を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 成人保健事業

- ・市民の健康の増進を図るため健康手帳の交付や健康教育、健康相談等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,173	3,173	3,113		60
主な支出内訳				
・成人保健事業				
嘱託栄養士報酬 2人				2,506
健康教育講師謝礼				30
主な特定財源				
・国県支出金				443

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎保健の経費

母子保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 妊産婦・乳幼児等

意図 こどもの健全育成と、子育て家族の健康の増進のため。

効果 家庭の育児力が向上し、安心して子育てすることで、こどもが心身ともに健全に発育発達する。

【事業の内容】

(1) 母子保健事業

- ・母子健康手帳、すくすく手帳の交付を行った。
- ・妊産婦健康診査補助券を交付し、妊婦健診14回、産後1か月健診1回の助成を行った。
- ・家庭訪問(新生児育児支援等)、乳幼児健診、母親教室、育児講座、健康相談等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

妊産婦への健診支援(4-1-3-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
132,118	127,389	118,853		8,536
主な支出内訳				
・母子保健事業				
母子保健指導嘱託員報酬 31人				7,821
母親教室・育児講座講師等謝礼				406
妊産婦・新生児等訪問指導謝礼				4,162
母子健康手帳等消耗品費				912
すくすく手帳・妊産婦健康診査補助券等印刷製本費				880
妊産婦健診等委託料				68,864
乳児健診(4か月児、お誕生日前)委託料				17,623
幼児健診等委託料				10,992
指定医療機関外の妊産婦健診・乳児健診補助金				3,789
主な特定財源				
・国県支出金				25,053

妊産婦健康診査

区 分	受診者数		区 分	受診者数	
	指定医療機関			指定医療機関	
	指定医療機関外			指定医療機関外	
1回目	1,216人		9回目	987人	
	10人			82人	
2回目	1,199人		10回目	952人	
	14人			110人	
3回目	1,130人		11回目	863人	
	25人			121人	
4回目	1,114人		12回目	767人	
	26人			102人	
5回目	1,109人		13回目	581人	
	28人			87人	
6回目	1,099人		14回目	412人	
	33人			61人	
7回目	1,080人		15回目	860人	
	49人			154人	
8回目	1,045人		合計	14,414人	
	63人			965人	

乳児健康診査

区 分	受診者数
4か月児健康診査	1,141人
お誕生前健康診査	1,194人
計	2,335人

幼児健康診査

区 分	受診者数
1歳6か月児健康診査	1,208人
2歳児歯科健康診査	988人
3歳児健康診査	1,139人
計	3,335人

乳幼児精密健康診査

区 分	精密健康診査券発行数
乳幼児精密健康診査	34人
計	34人

◎保健の経費

老人保健事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 65歳以上の高齢者(機能訓練については、40歳以上)

意図 高齢者の介護予防や健康の増進を図るため。

効果 健康に対する意識を高め、生きがいのある生活を送ることができる。

【事業の内容】

(1) 老人保健事業

- ・健康教育(健康づくり、介護予防など)、健康相談(生活習慣病、栄養、介護予防など)を実施した。
- ・脳卒中後遺症・関節疾患等の方(40歳以上)の社会参加・機能回復を目指し、機能訓練(日常生活や基本動作の訓練等)を実施した。
- ・75歳以上の後期高齢者健診を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
77,495	70,933	69,412		1,521

主な支出内訳

・老人保健事業

非常勤嘱託保健師報酬 6人	7,207
機能訓練嘱託員報酬 5人	2,836
健康講座講師等謝礼	186
機能訓練教室送迎車運行委託料	2,554
生活機能評価委託料 13,855人	17,183
訪問歯科検診委託料	25
後期高齢者健診委託料 8,818人	38,804

主な特定財源

・国県支出金	1,034
--------	-------

後期高齢者健診(早期移行者を含む)

区分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	8,818人	1,979人	4,401人	1,420人	1,018人

生保受給者健診(40歳以上)

区分	受診者数	異常なし	要指導	要指導と要医療	要医療
血液・尿・心電図等	84人	20人	35人	20人	9人

生活機能評価

受診者数 (A+B)	介護予防プログラム 参加者	二次予防事業 対象者 A	一次予防事業 対象者 B
13,855人	340人	3,273人	10,582人

機能訓練教室

実施回数	参加者数	延参加者
延167回	44人	553人

機能訓練教室送迎車運行

実施回数	乗車実人数	延乗車人数
延79回	10人	183人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

結核検診事業

【

市民健康課

】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 結核の早期発見・治療のため。

効果 結核を予防し、まん延を防ぐ。

【事業の内容】

(1) 結核検診事業

・肺の直接X線撮影を実施した。(16歳～39歳)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,488	2,787	2,038		749

主な支出内訳

・結核検診事業

結核検診委託料 360人

2,038

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

成人健康診査事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 生活習慣病の予防と重症化の防止のため。

効果 市民1人ひとりが自分の健康状態に留意し、健康を害する生活習慣を改善し、医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) 成人健康診査事業

- ・若年期からの生活習慣病予防のため20歳～38歳の方に検査キットによる健診を実施した。(偶数年齢で隔年実施)
- ・20～40歳の方に4歳刻みで、40～70歳の方に10歳刻みで歯周疾患検診を実施した。(問診、口腔内検査)
- ・早期発見及び治療を図るため、40歳以上の希望者に肝炎検診を実施した。また、国の肝炎対策の一環として、40～60歳の方に5歳刻みで個別勧奨を行い、無料検診を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

20歳からの成人健診事業の推進(4-1-3-⑥)

歯周疾患検診の推進(4-1-3-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,303	16,778	15,603		1,175
主な支出内訳				
・成人健康診査事業				
キット健診等委託料 546人				1,336
肝炎検診委託料 37人				176
歯周疾患検診委託料 435人				2,114
無料クーポン券肝炎検診委託料 2,009人				11,901
主な特定財源				
・国県支出金				4,099

キット健診(20～38歳)※国保加入者を含む。

区分	受診者数	異常なし	要観察	要医療
血液検査	802人	382人	335人	85人

肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルス の可能性が高い
C型	37人	37人		0人
B型	37人	35人	2人	

歯周疾患検診(20、24、28、32、36、40、50、60、70歳)※国保加入者含む。

区分	受診者数	異常なし	要指導	要医療
口腔内診査	462人	30人	38人	394人

無料クーポン券 肝炎検診

区分	受診者数	異常なし	HBS抗原陽性	C型肝炎ウイルス の可能性が高い
C型	2,007人	2,005人		2人
B型	2,009人	1,997人	12人	

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

がん検診事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 検診対象年齢に達した市民

意図 がん等の早期発見・治療のため。

効果 がん等の早期発見、早期治療により市民の健康維持に努めるとともに医療費の抑制につなげる。

【事業の内容】

(1) がん検診事業

- ・大腸がん(40歳以上)、肺がん(40歳以上)、胃がん(個別検診:40歳以上10年ごと、集団検診:40歳以上で胃がんの個別検診に該当しない方)、子宮頸がん(20歳以上偶数年齢の女性)、乳がん(視触診検診:20歳～38歳の偶数年齢の女性、乳房X線撮影と視触診検診:40歳以上偶数年齢の女性)の検診を実施した。
- ・がん検診推進事業として、子宮頸がん(20,25,30,35,40歳の女性)、乳がん(40,45,50,55,60歳の女性)、大腸がん(40,45,50,55,60歳)の検診を無料で実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
392,105	371,514	336,505		35,009
主な支出内訳				
・がん検診事業				
臨時的任用職員賃金				1,066
がん検診事業管理事務委託料				2,057
集団検診予約等一括業務委託料				7,953
がん精密検査追跡業務委託料				675
健診結果データ集約等業務委託料				5,149
大腸がん検診委託料 18,431人				61,916
肺がん検診委託料 21,237人				122,376
胃がん個別検診委託料 1,182人				21,079
胃がん集団検診委託料 4,572人				17,361
子宮頸がん検診委託料 4,795人				39,921
乳がん検診委託料 4,644人				23,623
乳がん集団検診委託料 121人				747
がん検診クーポン券発送業務委託料				3,617
無料クーポン券検診データ集約等業務委託料				521
子宮頸がん無料クーポン券検診委託料 973人				9,403
乳がん無料クーポン券個別検診委託料 1,348人				9,415
乳がん無料クーポン券集団検診委託料 85人				656
大腸がん無料クーポン券検診委託料 1,870人				7,344
主な特定財源				
・国県支出金				18,481

大腸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査	18,431人	1,472人	27人

肺がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
胸部X線直接撮影	21,237人	242人	14人

胃がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
節目年齢 (胃部X線直接撮影)	1,182人	297人	5人
集団 (胃部X線間接撮影)	4,572人	550人	10人
計	5,754人	847人	15人

子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診	4,795人	28人	1人

乳がん個別検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
視触診のみ	692人	66人	0人
乳房X線撮影 +視触診	3,952人	395人	16人
計	4,644人	461人	16人

乳がん集団検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 +視触診	121人	16人	0人

無料クーポン券 子宮頸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
子宮頸部細胞診	973人	7人	0人

無料クーポン券 乳がん個別検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 +視触診	1,348人	138人	0人

無料クーポン券 乳がん集団検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
乳房X線撮影 + 視触診	85人	21人	0人

無料クーポン券 大腸がん検診

区分	受診者数 (一次検査)	要精密検査	がん発見者数
便潜血検査	1,870人	84人	1人

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康診査の経費

健康情報システム構築・運用事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 健診対象年齢に達した市民

意図 市民の健診データを管理するため。

効果 健診受診者の結果データを整理し、市民各自の健康管理に寄与する。

【事業の内容】

(1) 健康情報システム構築・運用事業

- ・受診券発送から総合判定結果までのシステムの構築により市民の健康診査のデータ管理をし、市民の健康維持に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

健康情報システムの構築と運用(4-1-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,099	18,099	17,801		298

主な支出内訳

・健康情報システム構築・運用事業

データ管理等委託料

5,801

受診券作成等委託料

10,696

同封物作成業務委託料

1,304

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

地域健康づくり事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 健康づくりへの関心を高めるとともに、地域の人材を発掘して健康づくりの地域活動を支援するため。

効果 家族・地域など健康意識の醸成をはかり、個人及び地域が健康づくりを継続できる環境をつくる。

【事業の内容】

(1) 地域健康づくり事業

- ・若年期から自らの健康に関する意識を高め、より良い生活習慣を確立するために、本人のみならず家族ぐるみ地域ぐるみでの健康づくりを支援した。
- ・健康的な地域社会を構築していくために、自らの健康を推進し、かつ地域の住民の健康づくりを担っていく人材を育成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

若年層の地域健康づくり事業の推進(4-1-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
428	428	423		5

主な支出内訳

・地域健康づくり事業

地域健康づくり実践活動協力者謝礼

45

生活習慣改善プログラム委託料

378

(款) 20衛生費 (項) 5保健衛生費 (目) 15健康管理費

◎健康づくりの経費

食育事業

【 市民健康課 】

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 食を通して市民の健康の維持増進を図るため。

効果 市民の健康に対する意識が高まり、自分から進んで健康の維持増進のための行動をとることができる。

【事業の内容】

(1) 食育事業

- ・食育活動を推進するボランティアを育成するとともに、既に活動している団体と連携を図りながら地域での食育を推進した。
- ・「食」に関して、広く情報提供を行い市民への啓発を図った。
- ・市民、生産者・流通業者、関連団体等が交流する場を提供し、全市的な食育の推進に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

みんなですすめる食育(4-1-3-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,434	1,434	1,076		358
主な支出内訳				
・食育事業				
かまくら食育クラブ協力者等謝礼				299
かまくら食育カレッジ講師等謝礼				253
鎌倉食育推進会議委員謝礼				144
地域食育推進事業委託料				202
主な特定財源				
・国県支出金				177

◎清掃一般の経費

清掃一般運営事業

【 環境政策課・資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物処理施設を中長期的に整備し、3R事業を総合的かつ計画的に推進することにより、快適な生活環境の創造と循環型社会の形成を目指すため。

効果 安定的な一般廃棄物の処理と、3R事業を推進することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

- (1) 一般廃棄物処理施設建設基金積立金
 - ・一般廃棄物処理施設の建設の財源に充てるため基金積立事業を行った。
- (2) 清掃運営事務
 - ・清掃事業及び環境衛生等に関する一般事務費及び関係団体への負担金を支出した。
- (3) 清掃一般運営事業
 - ・一般廃棄物処理施設等に関する諮問機関である生活環境整備審議会に、ごみの減量・資源化を一層推進するための将来に向けた一般廃棄物処理施設のあり方について諮問を行った。
 - ・廃棄物の処理事業等に関する諮問機関である廃棄物減量化及び資源化推進審議会において、減量・資源化を推進するために家庭系ごみの有料化について等を諮問し、必要な事項についての調査、審議を行った。
 - ・廃棄物減量化等推進員を対象に、年4回会合を開催するとともに、推進員に対する研修として廃棄物関係施設見学会を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみ減量・資源化の充実・拡大(3-3-2-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,817	5,817	5,041		776
主な支出内訳				
・一般廃棄物処理施設建設基金積立金				
一般廃棄物処理施設建設基金利子積立金				28
一般廃棄物処理施設建設基金寄附金				0
・清掃運営事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				48
文具類等消耗品費				285
全国都市清掃会議負担金				116
日本環境衛生センター負担金				50
神奈川県都市清掃行政協議会負担金				10

・清掃一般運営事業	
生活環境整備審議会委員報酬 6人	62
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員報酬 11人	412
事務補助嘱託員報酬 1人	1,028
廃棄物減量化等推進員謝礼	1,790
廃棄物減量化及び資源化推進審議会委員費用弁償	14
事務補助嘱託員費用弁償	70
一般廃棄物処理手数料等賦課徴収用印刷物印刷製本費	96

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 5清掃総務費

◎清掃一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境総務担当)・ごみ減量・資源化推進担当・資源循環課・環境施設課・
環境センター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			1,445,078
・ 給料	一般職		662,093
	一般職職員	151人	
	再任用(短時間)	7人	
・ 職員手当等			563,951
	扶養手当		24,124
	地域手当		104,169
	通勤手当		17,307
	超過勤務手当		43,863
	休日給		46,051
	管理職手当		8,209
	特殊勤務手当		19,820
	期末勤勉手当		263,699
	住居手当		26,452
	管理職員特別勤務手当		0
	子ども手当		10,257
・ 共済費			219,034
	市町村職員共済組合負担金		218,530
	雇用保険料		504

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

名越クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター管理運営事業

・名越クリーンセンターでのごみの収集及び処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
113,471	117,566	113,847		3,719

主な支出内訳

・名越クリーンセンター管理運営事業

電気料	74,629
水道料	34,771
警備業務委託料	474
窓ガラス等清掃業務委託料	369
名越クリーンセンター用地賃借料	1,487
汚染負荷量賦課金	1,409

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎じん芥一般の経費

今泉クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター管理運営事業

・今泉クリーンセンターでのごみの収集及び処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,080	29,080	28,186		894

主な支出内訳

・今泉クリーンセンター管理運営事業

電気料	18,781
水道料	7,686
警備業務委託料	474
窓ガラス等清掃業務委託料	180
汚染負荷量賦課金	576

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

名越クリーンセンター収集事業

【

環境センター

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター収集事業

- ・ 鎌倉、腰越及び深沢(一部を除く)地域のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・ 清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
22,295	22,295	20,075		2,220
主な支出内訳				
・ 名越クリーンセンター収集事業				
収集作業用消耗品費				1,315
収集車両燃料費				7,710
収集車両修繕料				9,264
じん芥収集車購入費(軽ダンプ車 1台)				1,507

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎収集の経費

今泉クリーンセンター収集事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター収集事業

- ・大船、玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,072	11,535	10,976		559

主な支出内訳

・今泉クリーンセンター収集事業

・収集作業用等消耗品費

898

収集車両燃料費

3,155

収集車両修繕料

5,207

じん芥収集車購入費(軽ダンプ 1台)

1,507

◎処理の経費

最終処分事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 焼却炉から排出される焼却残さ

意図 焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため。

効果 最終処分場周辺の環境を保全し、焼却残さの資源化を図ることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 焼却残さ溶融固件事業

- ・ 焼却残さ全量を溶融固化及び焼成処理し、路盤材等に加工することによって資源化を行った。

(2) 最終処分場維持管理事業

- ・ 最終処分場周辺の環境を保全し、適切な維持管理を行った。
- ・ 最終処分場の廃止に向けた、観測を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

焼却残さの最終処分(3-3-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
259,572	255,932	251,605		4,327
主な支出内訳				
・ 焼却残さ溶融固件事業				
焼却残さ溶融固化処理業務委託料				215,104
焼却残さ溶出・含有量検定業務委託料				202
鹿嶋市環境保全協力金				692
・ 最終処分場維持管理事業				
最終処分場集水設備等維持修繕料				628
最終処分場ガス等計測検査業務手数料				2,898
最終処分場定期水質検査業務手数料				222
最終処分場精密水質・ダイオキシン類検査業務手数料				819
最終処分場保有水等搬出処理業務委託料				441
最終処分場観測井戸水運搬業務委託料				172
最終処分場用地等営農損失補償金				30,029

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

処理施設整備事業

【 環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 名越・今泉クリーンセンター等

意図 処理施設の整備及び適正管理を図るため。

効果 一般廃棄物の適正処理が図られる。

【事業の内容】

(1) ダイオキシン類削減対策施設整備事業

- ・名越・今泉両クリーンセンター周辺環境調査(土壌及び大気環境調査)業務を行った。
- ・今泉クリーンセンター事務所の賃借料を支出した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

クリーンセンター周辺環境調査(3-3-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,294	13,839	13,839		0

主な支出内訳

・ダイオキシン類削減対策施設整備事業

名越・今泉クリーンセンター周辺環境調査業務委託料

4,158

今泉クリーンセンター事務所賃借料

9,681

◎処理の経費

名越クリーンセンター処理事業

【 環境センター・環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 名越クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
- ・ 名越クリーンセンターの延命化に向けて、生活環境影響調査等の業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみ減量・資源化の充実・拡大(3-3-2-⑥)

名越クリーンセンターの延命化(3-3-3-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
300,327	277,537	271,584		5,953
主な支出内訳				
・ 名越クリーンセンター処理事業				
薬剤等消耗品費				36,628
施設燃料費				5,108
施設維持修繕料				114,870
電気工作物定期点検手数料				776
ごみ質検査手数料				445
作業環境調査業務委託料				350
クレーン年次点検業務委託料				810
環境調査業務委託料				2,048
焼却施設運転管理業務委託料				83,773
定期機能検査業務委託料				499
洗車排水汚水槽清掃業務等委託料				988
設計計算委託料(改造発注仕様書作成)				2,940
生活環境影響調査委託料				4,410
プラントメーカー選定支援事業委託料				0
新たなごみ質による長寿命化計画策定業務委託料				2,940
生ごみ等分別収集モニタリング調査分析等業務委託料				8,232
粗大ごみ等計量用トラックスケール賃借料				4,798

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎処理の経費

今泉クリーンセンター処理事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 一般廃棄物の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる。

【事業の内容】

(1) 今泉クリーンセンター処理事業

- ・ 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,992	177,403	175,401		2,002
主な支出内訳				
・ 今泉クリーンセンター処理事業				
薬剂等消耗品費				25,980
施設燃料費				1,991
施設維持修繕料				64,261
電気工作物定期点検手数料				313
ごみ質検査手数料				470
作業環境調査業務委託料				399
環境調査業務委託料				2,310
定期機能検査業務委託料				499
焼却施設運転管理業務委託料				67,032
脱臭設備保守業務委託料				2,835
クレーン年次点検業務委託料				766
排水処理施設各槽清掃業務等委託料				916
敷地内枝払い業務委託料				126
崩落復旧業務委託料				5,796

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

笛田リサイクルセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。

効果 ごみの排出抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

【事業の内容】

- (1) 笛田リサイクルセンター運営事業
 - ・ 笛田リサイクルセンターの運営管理を行った。
 - ・ 廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施した。
- (2) 笛田リサイクルセンター維持管理事業
 - ・ 笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
140,629	137,171	135,323		1,848
主な支出内訳				
・ 笛田リサイクルセンター運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				63
再生利用施設用消耗品費				220
再生利用施設啓発事業委託料				3,800
運転・保守管理等業務委託料				22,302
資源物選別処理等業務委託料				50,400
自動ドア保守点検等委託料				271
軽自動車購入費(1台)				788
・ 笛田リサイクルセンター維持管理事業				
資源物収集コンテナ等消耗品費				3,480
電気料				6,766
水道料				1,763
都市ガス料				4,516
施設内設備維持修繕料				20,882
消防設備定期点検手数料				315
警備業務委託料				474
清掃業務委託料				2,185
空気調和設備保守点検委託料				2,048
選別設備保守点検委託料				3,990
自動倉庫保守点検委託料				831
脱臭集塵設備保守点検委託料				2,076
公園的整備用地内枝剪定及び植栽管理業務委託料				1,432
敷地内植栽管理業務等委託料				1,588

◎減量化・資源化の経費

分別収集運営事業

【 資源循環課・環境施設課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 廃棄物を適正に処理し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 収集処理事業

- ・収集処理業務として、資源物やごみを品目別に分別収集し資源化を図った。
- ・クリーンステーションのごみ散乱やカラス被害を防止するため、ごみ散乱防止ネットを貸し出した。
- ・名越・今泉クリーンセンターの収集運搬業務の一部を民間委託した。
- ・今泉クリーンセンターの新たな利用に向けた耐震診断及び耐震設計業務を行った。

(2) 分別収集施設・設備運営事業

- ・燃えないごみ、危険・有害ごみの分別を行う施設の管理を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

紙類等の資源化(3-3-2-①)

ペットボトル・容器包装プラスチックの資源化(3-3-2-②)

ごみ減量・資源化の充実・拡大(3-3-2-⑥)

ごみの収集・運搬業務の民間委託化(3-3-3-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
746,401	750,877	748,199		2,678
主な支出内訳				
・収集処理事業				
ごみ散乱防止ネット等消耗品費				286
ペットボトル中間処理業務委託料				27,451
容器包装プラスチック中間処理業務委託料				95,291
容器包装プラスチック収集運搬業務委託料				69,279
耐震診断・耐震設計業務委託料				6,510
紙類等資源物処理業務委託料				175,753
容器包装処理業務委託料				2,085
廃乾電池・廃蛍光灯資源化処理業務委託料				6,621
不燃ごみ資源化処理業務委託料				88,878
木製家具等資源化処理業務委託料				6,916
資源物(カン・ビン)収集及びコンテナ配布業務委託料				122,048
鉄屑類等資源化処理業務委託料				5,660
名越・今泉クリーンセンター一部収集運搬委託料				133,160
植木剪定材等排出増量分対応収集運搬業務委託料				3,506
粗大ごみ等収集用シール販売委託料				1,185
フロンガス破壊処理委託料				44
クリーンステーション看板作成委託料				814

・ 分別収集施設・設備運営事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,028

事務補助嘱託員費用弁償

59

不燃ごみ等搬出用トラックスケール賃借料

702

鹿嶋市環境保全協力金

226

ごみの搬入量

(単位:t)

区分 年度	家庭系ごみ				事業系ごみ				合計
	燃やす ごみ	燃えない ごみ等	粗大・臨 時ごみ	計	直営収集 ごみ	許可業者 収集ごみ	持込ごみ	計	
23	24,446	1,649	2,539	28,634	116	12,429	857	13,402	42,036
22	24,446	1,551	2,478	28,475	131	13,096	791	14,018	42,493
21	24,557	1,429	2,328	28,314	122	13,001	778	13,901	42,215

資源物の搬入量

(単位:t)

区分 年度	飲食用 カン・ビン	ミックスペー パー ・紙パック	容器包装 プラスチック	ペットボトル	植木剪定 材	新聞・雑 誌・段ボ ール・布類	計
23	2,117	2,632	2,162	498	11,226	8,695	27,330
22	2,115	2,703	2,158	487	11,439	8,455	27,357
21	2,122	2,768	2,163	471	11,177	8,694	27,395

ごみの焼却量(名越・今泉クリーンセンター実量)

(単位:t)

年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
焼却量	40,173	40,389	39,100

家庭ごみ(粗大ごみ等を除く)及び資源物の搬入量

(単位:kg)

区分 年度	21年度		22年度		23年度	
	ごみ	資源物	ごみ	資源物	ごみ	資源物
1世帯当たり	357	376	359	378	358	375
1人当たり	149	157	149	157	150	157

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

植木剪定材堆肥化事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市内で発生する植木剪定材を堆肥化することにより、循環型社会の形成を目指すため。
ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

効果 植木剪定材を堆肥化することにより、ごみの減量・資源化が図られるとともに、生成した堆肥を市民へ配布することにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 植木剪定材堆肥化事業

- ・ 市民及び造園業等事業者から排出された植木剪定材を、委託業者の中間処理施設まで搬送し、処理を行った。
- ・ 処理を行った植木剪定材を委託業者の堆肥化事業場において堆肥化し、生成した堆肥を市民及び農家に配布した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

植木剪定材の資源化(3-3-2-③)

ごみ減量・資源化の充実・拡大(3-3-2-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
149,076	149,076	134,577		14,499
主な支出内訳				
・ 植木剪定材堆肥化事業				
植木剪定材受入事業場維持修繕料				887
植木剪定材堆肥化事業業務委託料				131,329

◎減量化・資源化の経費

減量化資源化運営事業

【ごみ減量・資源化推進担当・資源循環課】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 3R事業を推進し、循環型社会の形成を目指すため。

効果 ごみの発生抑制及び減量・資源化が図られることにより、循環型社会が形成される。

【事業の内容】

(1) 減量化資源化運営事業

- ・ 3R推進事業奨励金交付事業として、ごみの発生抑制及び減量・資源化事業に協力する自治町内会に対して奨励金を交付した。
- ・ 一般家庭向けの啓発事業として、ごみ減量通信の発行、出前説明会の開催、環境教育、ごみダイエツ展、キャンペーン等を実施した。
- ・ 事業所向けの啓発事業として、研修会の開催、パンフレットの配布及び訪問指導等を行った。
- ・ 大型生ごみ処理機を地域等に設置し、生ごみの減量・資源化を進めるためのモデル事業を開始した。
- ・ 生ごみ処理機購入費補助金を交付し、各家庭における生ごみの自己処理を促すことにより、生ごみの減量・資源化を図った。
- ・ 家庭用生ごみ処理機を地域等に貸与し、生ごみの減量・資源化を進めるためのモデル事業を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

ごみの発生抑制の啓発(3-3-1-①)

生ごみの排出抑制(3-3-1-②)

ごみ減量・資源化の充実・拡大(3-3-2-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,676	38,489	31,281		7,208
主な支出内訳				
・ 減量化資源化運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				1,764
3R推進事業奨励金				4,662
事務補助嘱託員費用弁償				118
啓発用消耗品費				470
生ごみ処理機購入消耗品費				3,431
鎌倉ごみ減量通信印刷製本費				364
資源物50音別分別区分冊子印刷製本費				204
啓発用チラシ等印刷製本費				94
大型生ごみ処理機用光熱水費				180
減量・資源化啓発委託料				337
大型生ごみ処理機保守管理委託料				1,928
家庭系ごみ質組成調査業務委託料				2,803

大型生ごみ処理機賃借料	1,164
生ごみ処理機購入費補助金	12,145
リユース食器補助金	100

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 10じん芥処理費

◎減量化・資源化の経費

バイオマスエネルギー回収施設整備事業

環境施設課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 ゼロ・ウェイストかまぐらの実現に向けたバイオマスエネルギーの有効利用等のため。

効果 生ごみ等及び下水汚泥の減量化・資源化を図り、循環型社会の形成を推進する。また、化石燃料を使わないクリーンなエネルギーの活用により、地球温暖化の防止に貢献する。

【事業の内容】

(1) バイオマスエネルギー回収施設整備事業

・ バイオマス施設の稼働状況等について情報収集を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

バイオマスエネルギー回収施設の整備(3-3-2-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
32,141	32,141	0		32,141

主な支出内訳

・ バイオマスエネルギー回収施設整備事業

土壌調査(土対法、県条例)業務委託料

0

バイオマス事業負担金

0

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎し尿一般の経費

深沢クリーンセンター管理運営事業

【 環境センター 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) 深沢クリーンセンター管理運営事業

・ 深沢クリーンセンターでのし尿の処理に係る施設、設備の維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,216	14,009	12,275		1,734
主な支出内訳				
・ 深沢クリーンセンター管理運営事業				
電気料				4,004
水道料				2,827
汚泥処理棟東側外壁塗装修繕料				2,289
警備業務委託料				474
窓ガラス等清掃業務委託料				66
ファクシミリ付複写機保守点検業務委託料				30
軽自動車購入費(1台)				788
下水道負担金				1,526

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎収集の経費

し尿収集事業

【 資源循環課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 汲取りし尿の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿収集事業

- ・し尿の収集運搬及び処理手数料の徴収事務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,231	22,252	20,912		1,340

主な支出内訳

・し尿収集事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,028

事務補助嘱託員費用弁償

66

し尿収集運搬業務委託料

19,607

し尿処理手数料徴収業務委託料

211

し尿等の処理量

(単位:kl)

年度	区分	し 尿	浄化槽汚泥	合計
23		1,181	3,487	4,668
22		1,371	3,675	5,046
21		1,499	3,849	5,348

※し尿収集業務は、平成18年度から全て委託になりました。

(款) 20衛生費 (項) 10清掃費 (目) 15し尿処理費

◎処理の経費

し尿処理事業

【

環境センター

】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公共下水道に接続していない全ての汲取りし尿と浄化槽汚泥の適正な処理のため。

効果 生活環境の保全及び公衆衛生が図られる。

【事業の内容】

(1) し尿処理事業

・し尿及び浄化槽汚泥の放流処理施設の運転及び維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,860	12,875	12,793		82

主な支出内訳

・し尿処理事業

薬剤等消耗品費 2,411

施設維持修繕料 7,663

残土処分業務委託料 156

脱臭用活性炭交換業務委託料 1,558

オーバースライダー定期点検業務等委託料 90

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

職員給与費

【

職員課

】

【対象となる職員】

環境部のうち環境政策課(環境政策担当)・環境保全課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費			166,312
・ 給料	一般職		80,602
	一般職職員	18人	
	再任用(短時間)	2人	
・ 職員手当等			59,531
	扶養手当		2,693
	地域手当		12,634
	通勤手当		2,120
	超過勤務手当		2,832
	休日給		44
	管理職手当		931
	特殊勤務手当		821
	期末勤勉手当		31,713
	住居手当		4,016
	子ども手当		1,727
・ 共済費			26,179
	市町村職員共済組合負担金		25,591
	社会保険料		495
	雇用保険料		93

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

環境美化事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 快適な生活環境の実現のため。

効果 散乱ごみ・不法投棄をさせないまちづくりが促進されるとともに、散乱ごみのない良好な海岸の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 環境美化事業

- ・公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務、市内に設置した観光ごみ等分別式容器のごみ回収業務を行った。

(2) 海岸清掃事業

- ・(公財)かながわ海岸美化財団への清掃事業費負担金を支出した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,505	22,838	22,701		137
主な支出内訳				
・環境美化事業				
不法投棄物(家電リサイクル法適応分)処理手数料				179
観光ごみ等拠点回収業務委託料				4,873
花火大会翌日集積ごみ回収処理業務委託料				0
花火大会夜間特別拠点回収業務委託料				0
不法投棄物処理業務等委託料				91
・海岸清掃事業				
(公財)かながわ海岸美化財団清掃事業費負担金				17,478

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

公衆トイレ清掃事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公衆トイレの維持、清掃を通じまちの美化を推進、良好な都市環境を向上させるため。

効果 快適で清潔なトイレの実現が図られる。

【事業の内容】

(1) 公衆トイレ清掃事業

・ 公衆トイレ(37箇所)の日常清掃業務及び維持管理業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
42,180	40,745	39,293		1,452

主な支出内訳

・ 公衆トイレ清掃事業

公衆トイレ電気料 1,254

公衆トイレ水道料 12,438

公衆トイレ維持修繕料 797

公衆トイレ清掃業務委託料(公衆トイレ37箇所) 22,886

公衆トイレ消臭器保守点検業務委託料 867

汚物水中ポンプ槽内清掃業務等委託料 531

公衆トイレ電気料負担金 318

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎環境対策一般の経費

美化運動事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 まちの美化を進め、良好な生活環境を保全向上させるため。

効果 落書きや、吸い殻などの散乱ごみがない美しいまちの形成が推進される。

【事業の内容】

(1) 美化運動事業

- ・ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。
- ・路上喫煙防止指導員を配置し、路上喫煙禁止区域を中心に屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・市民団体とともに市内一斉清掃を年2回実施した。
- ・まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付、まち美化推進協議会の開催、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。
- ・市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

まち美化の推進(3-3-4-①)

路上喫煙防止の推進(3-3-4-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,816	13,816	12,916		900
主な支出内訳				
・ 美化運動事業				
路上喫煙防止指導員報酬 7人				7,603
事務補助嘱託員報酬 1人				936
まち美化推進協議会委員報酬 10人				184
まち美化清掃活動奨励金				1,240
まち美化推進員報償費				250
路上喫煙防止指導員費用弁償				677
事務補助嘱託員費用弁償				87
清掃用具等消耗品費				399
喫煙場所灰皿清掃業務委託料				615
路面啓発シート作成業務委託料				399
クリーンアップごみ回収処理業務委託料				75
落書きのないまちづくり事業負担金				150

◎環境政策の経費

環境基本計画推進事業

環境政策課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉市環境基本条例の3つの理念に基づき、鎌倉市環境基本計画を推進するため。

効果 環境共生都市の創造に向けた具体的な目標の達成のために、市民・事業者・滞在者・行政が環境に関心を持ち、環境に対する責任と役割を理解し、環境保全活動に自ら取り組み、その活動を広げ、社会全体に定着させる。

【事業の内容】

(1) 環境基本計画推進事業

- ・環境審議会で、環境白書により環境基本計画の年度毎の進行状況を把握した。
- ・地域における地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策を推進するため、「かまくら環境保全推進会議」を通じて、環境保全行動の普及・啓発を行った。
- ・環境経営システムを推進するため、環境カウンセラーを事業所に派遣しエコアクション21導入に向けて指導を行った。
- ・環境教育の推進を図るため、環境教育アドバイザー等を派遣した。
- ・雨水の利用を推進するため、雨水貯留槽の設置経費の助成を行った。
- ・市民を対象とした太陽光発電設備設置費用の助成を行い、再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、「緑のカーテン」の普及などを通じて市域の地球温暖化対策を推進した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

環境政策の推進(3-3-6-①)

環境教育の推進(3-3-6-②)

雨水利用の促進(3-3-6-③)

太陽光発電設備助成(3-3-6-④)

地球温暖化対策の推進(3-3-6-⑤)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,911	16,030	14,896		1,134
主な支出内訳				
・環境基本計画推進事業				
環境審議会委員報酬 11人				154
事務補助嘱託員報酬 1人				600
環境保全に関する講師等謝礼				30
かまくら環境保全推進会議委員謝礼				72
エコアクション21普及アドバイザー等謝礼				165
環境教育アドバイザー等講師謝礼				488
環境審議会委員費用弁償				24
事務補助嘱託員費用弁償				54
「緑のカーテン」購入費				70
エコショップステッカー印刷製本費				26
新聞・ダンボール・クラフト・牛乳パック回収運搬料				1,386
牛乳パック及びミックスペーパー保管業務委託料				378
雨水貯留槽購入費補助金				878

太陽光発電設備設置費補助金	10,172
主な特定財源	
・ 国県支出金	5,086

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎公害対策一般の経費

環境保全事業

環境保全課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【事業の内容】

(1) 環境保全事業

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善勧告命令を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実に図った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深夜花火の防止の普及(3-3-5-①)

生活排水設備の整備(3-3-5-②)

環境政策の推進(3-3-6-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,130	8,779	6,524		2,255
主な支出内訳				
・環境保全事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				47
環境保全啓発小冊子等印刷製本費				87
地盤沈下精密水準測量調査業務委託料				515
自動車排出ガス等環境調査業務委託料				1,937
河川水質調査業務委託料				496
有害大気汚染物質分析業務委託料				346
大気中二酸化窒素濃度調査試料分析業務等委託料				697
深夜花火巡回警備業務委託料				863
合併処理浄化槽設置補助金				0
主な特定財源				
・国県支出金				377

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

衛生・害虫駆除事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 感染症予防法に基づき、市民の健康で安全かつ快適な生活のため環境衛生の向上に努めるため。

効果 不快害虫等の駆除による快適な生活環境の形成が図られる。

【事業の内容】

(1) 衛生・害虫駆除事業

- ・ユスリカなど不快害虫が発生する河川、排水路等の消毒、ねずみ・ハチ等昆虫の駆除相談・駆除業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,033	4,495	4,354		141

主な支出内訳

・ 衛生・害虫駆除事業

有害虫駆除相談臨時的任用職員賃金	272
害虫駆除用薬剤等消耗品費	2,269
車両等燃料費	468
車両修繕料	357
佐助墓地除草業務委託料	182
害虫駆除等作業車両購入費(軽トラック1台)	683

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

犬の登録等事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 犬、猫を所有する市民等

意図 狂犬病の発生予防、未登録犬の削減、犬、猫の適正飼育の推進のため。

効果 狂犬病予防注射接種率及び飼育者のマナー向上、未登録犬の削減を図る。

【事業の内容】

(1) 犬の登録等事業

- ・ 犬の鑑札、狂犬病予防注射済票を交付した。
- ・ 鎌倉市収納指定獣医師に、犬の鑑札、狂犬病予防注射済票の交付を委託した。
- ・ 狂犬病予防集合注射を神奈川県獣医師会と共同で実施し、接種率の向上に努めた。
- ・ 犬の登録促進について、広報かまくら等により周知するとともに、動物病院と連携し未登録犬の解消に努めた。
- ・ 猫の不妊去勢手術を奨励し、飼い主のいない猫の繁殖の防止を図った。
- ・ 犬、猫の飼育者のマナー向上のため、広報かまくら・犬猫のフン防止プレートの配布などにより啓発を行った。
- ・ 動物の愛護及び管理に関する法律の趣旨に則った行事として、県獣医師会、神奈川県、市町村等が主催する『動物フェスティバル2011神奈川in湘南』を開催した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,759	6,759	6,241		518
主な支出内訳				
・ 犬の登録等事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
集合注射受付事務等臨時的任用職員賃金				598
事務補助嘱託員費用弁償				63
犬の登録事務等消耗品費				462
犬の登録・注射促進協力等業務委託料				858
『動物フェスティバル2011神奈川in湘南』負担金				1,950
湘南獣医師会補助金				171
猫に対する不妊去勢手術補助金				724
飼い主のいない猫対策事業補助金				346

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 10環境衛生費

◎環境衛生一般の経費

鳥獣保護管理対策事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 野生鳥獣の適正な保護及び管理のため。

効果 傷病野生鳥獣の治療のための捕獲を行うとともに、有害鳥獣による被害発生予防、被害原因除去と再発防止に努める。

【事業の内容】

(1) 鳥獣保護管理対策事業

- ・野生鳥獣の保護等に関する啓発を行うとともに、傷病等野生鳥獣を捕獲、または捕獲されたものの県指定収容施設への搬送を行った。
- ・アライグマ、ハクビシン、タイワンリスなどいわゆる外来動物による生態系、生活環境等の被害の防止に係る説明・指導を行った。
- ・外来動物に係る被害の実地調査、捕獲の許可を行った。また、捕獲個体の処分業務を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,160	8,160	7,937		223
主な支出内訳				
・鳥獣保護管理対策事業				
事務補助嘱託員報酬 3人				3,084
事務補助嘱託員費用弁償				215
現場作業等消耗品費				343
有害鳥獣駆除等業務委託料				4,295
主な特定財源				
・国県支出金				2,045